

令和4年度

リフレサッポロ改修強電設備工事

図 面 目 録

No.	図 面 名 称	縮 尺
E-1	特記仕様書1	—
E-2	特記仕様書2	—
E-3	特記仕様書3	—
E-4	特記仕様書4	—
E-05	付近見取図・配置図	1/500
E-06	橋内配電線路(改修後)	1/200
E-07	電灯設備 厚生棟地下1階平面図(改修後)	1/100
E-08	電灯設備 厚生棟1階平面図(改修後)	1/100
E-09	電灯設備 厚生棟2階平面図(改修後)	1/100
E-10	電灯設備 厚生棟3階平面図(改修後)	1/100
E-11	電灯設備 厚生棟4階平面図(改修後)	1/100
E-12	電灯設備 厚生棟5階・屋上平面図(改修後)	1/100
E-13	電灯設備 体育棟地下1階、1階平面図(改修後)	1/100
E-14	電灯設備 体育棟2階、3階平面図(改修後)	1/100
E-15	照明器具姿図-1	—
E-16	照明器具姿図-2	—
E-17	電灯設備 舞台照明-1(改修後)	—
E-18	舞台照明-2(改修後)	—
E-19	舞台照明-3(改修後)	—
E-20	舞台照明-4(改修後)	—
E-21	X線幹線設備、コンセント設備、動力設備、受変電設備、電力貯蔵設備 厚生棟地下1階平面図(改修後)	1/100
E-22	X線幹線設備、コンセント設備、動力設備 厚生棟1階平面図(改修後)	1/100
E-23	X線幹線設備、コンセント設備、動力設備 厚生棟2階平面図(改修後)	1/100
E-24	X線幹線設備、コンセント設備、動力設備 厚生棟3階平面図(改修後)	1/100
E-25	コンセント設備、動力設備 厚生棟4階平面図(改修後)	1/100
E-26	コンセント設備、動力設備 厚生棟5階・屋上平面図(改修後)	1/100
E-27	コンセント設備、動力設備、電熱設備 体育棟地下1階、1階平面図(改修後)	1/100
E-28	コンセント設備、動力設備 体育棟2階、3階平面図(改修後)	1/100
E-29	分電盤結線図-1(改修後)	—
E-30	分電盤結線図-2(改修後)	—
E-31	分電盤結線図-3(改修後)	—
E-32	分電盤結線図-4(改修後)	—
E-33	分電盤結線図-5(改修後)	—
E-34	分電盤結線図-6(改修後)	—

No.	図 面 名 称	縮 尺
E-35	動力盤結線図-1(改修後)	—
E-36	動力盤結線図-2(改修後)	—
E-37	動力盤結線図-3(改修後)	—
E-38	受変電設備結線図(改修後)	—
E-39	非常用発電機配置図(改修後)	1/30、1/100
E-40	非常用発電機 機器外形図・仕様(改修後)	—
E-41	橋内配電線路(改修前)	1/200
E-42	電灯設備 厚生棟地下1階平面図(改修前)	1/100
E-43	電灯設備 厚生棟1階平面図(改修前)	1/100
E-44	電灯設備 厚生棟2階平面図(改修前)	1/100
E-45	電灯設備 厚生棟3階平面図(改修前)	1/100
E-46	電灯設備 厚生棟4階平面図(改修前)	1/100
E-47	電灯設備 厚生棟5階・屋上平面図(改修前)	1/100
E-48	電灯設備 体育棟地下1階、1階平面図(改修前)	1/100
E-49	電灯設備 体育棟2階、3階平面図(改修前)	1/100
E-50	X線幹線設備、コンセント設備、動力設備、受変電設備、電力貯蔵設備 厚生棟地下1階平面図(改修前)	1/100
E-51	X線幹線設備、コンセント設備、動力設備 厚生棟1階平面図(改修前)	1/100
E-52	X線幹線設備、コンセント設備、動力設備 厚生棟2階平面図(改修前)	1/100
E-53	X線幹線設備、コンセント設備、動力設備 厚生棟3階平面図(改修前)	1/100
E-54	コンセント設備、動力設備 厚生棟4階平面図(改修前)	1/100
E-55	コンセント設備、動力設備 厚生棟5階・屋上平面図(改修前)	1/100
E-56	コンセント設備、動力設備 体育棟地下1階、1階平面図(改修前)	1/100
E-57	コンセント設備、動力設備 体育棟2階、3階平面図(改修前)	1/100
E-58	分電盤結線図-1(改修前)	—
E-59	分電盤結線図-2(改修前)	—
E-60	分電盤結線図-3(改修前)	—
E-61	分電盤結線図-4(改修前)	—
E-62	分電盤結線図-5(改修前)	—
E-63	分電盤結線図-6(改修前)	—
E-64	動力盤結線図-1(改修前)	—
E-65	動力盤結線図-2(改修前)	—
E-66	動力盤結線図-3(改修前)	—
E-67	受変電設備結線図(改修前)	—
E-68	非常用発電機(改修前)	—

特記仕様書

I. 工事名称	リフレサッポロ改修強電設備工事
II. 工事概要	
1. 工事場所	札幌市 白石区本通16丁目南1002-1
2. しゅん功期限	着手の日から 令和 5年 2月10日 まで
部分しゅん功期限	令和 年 月 日 まで
部分引渡の範囲	()
3. 工事内容	リフレサッポロ（SRC造地下1階地上5階建、延べ面積約9,240m ² ）の改修に伴う強電設備工事を行う。
4. 工事項目	（●印を付したものを本工事項目とする） ●受変電設備 ○構内交換設備 ○監視カメラ設備 ●幹線設備 ○インターホン設備 ●構内配電線路 ●動力設備 ○電気時計設備 ○構内通信線路 ●電灯設備 ○雷保護設備 ●非常用発電設備 ●電熱設備 ○R・T・ヒートン [®] 設備 ●電力貯蔵設備 ○自動火災報知設備 ●屋外照明設備 ○ ○拡声設備 ○構内情報通信設備 ○ ○テレビ共聴設備 ○太陽光発電設備 ●発 生 材
5. 別途工事	

III. 工事仕様	
1. 共通仕様	図面及び本特記仕様書に記載されていない事項は、以下による。 公共建築工事標準仕様書（電気設備工事編）平成31年版 公共建築改修工事標準仕様書（電気設備工事編）平成31年版 公共建築設備工事標準図（電気設備工事編）平成31年版 公共建築工事標準仕様書（建築工事編）平成31年版 公共建築改修工事標準仕様書（建築工事編）平成31年版 公共建築工事標準仕様書（機械設備工事編）平成31年版 公共建築改修工事標準仕様書（機械設備工事編）平成31年版 以上 国土交通省大臣官房官庁営繕部監修 電気設備工事仕様書（札幌市都市局建築部） 令和 3年度版 ○札幌市学校電気設備標準図 令和 3年度版 ○市営住宅電気設備工事設計施工要領書（札幌市建築部電気設備課） 令和 3年度版 ○公園便所電気設備工事設計施工要領書 令和 3年度版 ○公園照明設計施工要領書 令和 3年度版 ●保安規程（札幌市都市局建築部） 平成26年度版
2. 特記事項	特記事項中選択を要するものは、●印を付したものを適用する。

共通事項	
機 材	設計図書の仕様により選択し、監督職員に使用資材届、承諾図、品質性能等の資料を提出し承諾を得ること。 「建築材料・設備機材等品質性能評価事業 設備機材等評価名簿」（社）公共建築協会編纂）の活用により評価を受けた材料を使用する場合は、評価書の添付により品質性能等の資料の提出を省略することができる。
工食用動力その他	この工事に必要な工食用動力、水、および諸手続きなどの費用はすべて受注者の負担とする。
工事しゅん功時提出書類	1. 諸官庁届出書、検査合格書 2部 2. 各種測定表（監督職員の指示による） 2部 3. 工事写真（元データも含む） 1部 4. しゅん功図 製本1部 5. 縮小図（A3二つ折り） 製本4部 6. 完成図書 2部 7. その他 ○入居者説明等資料 戸数分 ○引渡資料 部 ○しゅん功写真（元データ含む） 1部 なお、受注者は著作物等（工事写真・しゅん功写真等）の利用を発注者に承諾するものとする。
電子納品	●対 象 ○対象外 1. 電子納品は、札幌市「電子納品に関する手引き【営繕工事】」に基づいて作成する。詳細は、監督職員と協議する。

2. 成果品の提出部数（CD-R）	2部
3. 設計図CADデータの貸与	●貸与する ○貸与しない 貸与するCADデータは、本工事の履行に必要な施工図及び完成図の作成においてのみ使用し、それ以外の目的で使用してはならない。 貸与したCADデータは、完成検査時に全て返却し、履行期間中に複製を作成している場合は、全て削除すること。 なお、著作権法第2章及び第3章に規定する著作権者の権利或いは著作権法第2章第3節第2款に規定する著作権人権は、図面を作成した設計事務所等に帰属する。

主任技術者等	1. 主任技術者 建設業法による主任技術者資格を有するもの。（共同企業体の場合は、構成員すべて主任技術者資格を有すること。） 2. 現場代理人 3. 監理技術者 建設業法による監理技術者の資格を有するもの及び国土交通大臣の登録を受けた講習を受講したものである。 4. 電気保安技術者○第1種または第2種電気工事士（一般用電気工作物） ●電気主任技術者または同等の知識及び経験を有するもの（事業用（自家用）電気工作物）及び本市が同程度と認めるもの 最大電力 ●500kW以上 ○100kW以上500kW未満 ○100kW未満
監督職員詰所	○要（ ） ●不要
火災保険等	工事の内容等により、火災保険、建設工事保険、組立保険等の1以上の保険を付してその写しを監督職員に提出すること。
保険契約定款	保険の期日 始期—保険の目的物が工事現場に搬入される日 終期—しゅん功期限+14日以上
公共工事の入札及び契約の適正化の促進に関する法律	公共工事の入札・契約の適正化を促進し、公共工事に対する国民の信頼の確保と建設業の健全な発展を図る目的である同法を遵守し、施工体制の適正化を図ること。
臨時検査	発注者の工事施行途中における検査の実施 ・臨時技術検査 発注者が必要と認めた場合に行う検査 ●中間技術検査 工事施行途中に行う技術検査 実施回数は原則年度に1回とする。
施工体制台帳等	（1）施工体制台帳 受注者は、下請契約を締結する場合には下請金額にかかわらず施工体制台帳を作成し工事現場に備えるとともに、作成した施工体制台帳の写しを監督職員に提出するものとする。 なお、施工体制台帳には「工事担当技術者（様式）」を追加して監理技術者、主任技術者（下請負を含む）及び元請負の専門技術者（専任している場合のみ）の氏名、生年月日、所属会社名を記載するものとする。 （2）施工体系図 受注者は施工体制台帳をもとに施工体系図を作成し、工事関係者が見やすい場所及び公衆が見やすい場所に掲示するものとする。 （3）現場の管理 受注者は、監理技術者、主任技術者（下請負を含む）及び元請負の専門技術者（専任している場合のみ）に、工事現場内において、工事名、工期、顔写真、所属会社名及び社印の入った名札を着用させるものとする。
適正な施工の確保について	（1）建設業法（昭和24年法律第100号）に違反する一括下請負その他不適切な形態の下請契約を締結しないこと。 （2）建設業法第26条の規定により受注者が工事現場ごとに設置しなければならない専任の監理技術者については、適切な資格、技術力等を有する者（工事現場に常駐して専らその職務に従事する者で、受注者と直接的かつ恒常的な雇用関係にあるものに限る。）を配置すること。 （3）上記（1）および（2）のほか建設業法等に抵触する行為は行わないこと。

施工中の安全確保及び環境保全について	受注者は工事に際し、公衆災害の防止、施工中の安全確保、及び環境保全のため、関係法令及び公共建築工事標準仕様書の記述に従う他、以下の項目に留意すること。 ●高所作業における落下、転落事故の防止。 ●火気の安全管理。 ●作業場における酸欠状態及び有害ガス等の発生防止。 ●交通安全管理 公道等において工事を行う場合は、必要な保安施設を設置し、交通安全に努めること。 北海道公安委員会が認定する路線における工事現場には、一級又は二級検定合格警備員を交通誘導警備員として配置する。 交通誘導警備員を以下の条件に沿って配置し、現場内における安全確保に努めなければならない。なお、必要となる交通誘導警備員の人数は作業形態に応じた配置計画等とともに、あらかじめ監督職員と協議すること。 （配置条件：） ○地下埋設物破壊事故の防止 施工範囲の埋設物に十分注意し、「建築工事安全施工技術指針」及び「建築工事公衆災害防止対策要綱」を遵守すること。
工事現場の安全衛生に関する管理	労働安全衛生法（昭和47年法律第57号）第30条第2項の規定に基づき特定元方事業者として指名された場合は、関係法令に従い必要な措置を講ずる。 また、敷地内の除排雪については、工事の安全確保等のため適切に行うこと。
工事実績情報の登録	請負代金額が500万円以上の場合を対象とする。（公共建築工事標準仕様書 1.1.4 参照のこと） 工事着手時、変更時、しゅん功時の10日以内に登録を行い、監督員に提出すること。 なお、変更登録は、工期、技術者等に変更が生じた場合に行うものとする。 変更時としゅん功時の間が10日に満たない場合は、変更時の登録されたことを証明する資料の提出を省略できるものとする。
道産品の活用について	本工事に使用する使用資材のうち、道内で産出、生産または製造される資材等で規格・品質が適正である場合は、これを優先的に使用するよう努めるものとする。
計 量 単 位	計量単位については国際単位系（SI単位）とする。
工事材料の検査	検査材料（受配電盤）
支給品及び貸与品	支給品及び貸与品（）
公共事業労務費調査	受注者は、札幌市が実施する公共事業労務費調査の対象工事（以下「対象工事」という。）となった場合には次の各項に挙げた事項について行うとともに協力しなければならない。 また、対象工事の工期経過後も同様とし、これらに要する費用は受注者の負担とする。 （1）労働基準法に従って就業規則を作成するとともに、現場労働者の賃金及び時間の管理を適切に行い、賃金台帳の整備とその保存を行うこと。 （2）札幌市が指定する面接調査日時に、指定した公共事業労務費調査対象期間の現場労働者の賃金台帳等による調査票等を提出し、面接調査を受けること。 （3）面接調査の結果、発注者もしくは発注者に代わる者により受注者を訪問し、再調査または指導を行うこととなった場合は、受注者が自ら協力すること。 （4）対象工事の一部について下請負契約を締結する場合には、当該下請負業者（当該下請負工事の一部に関わる二次以降の下請負業者を含む。）が前各項と同じ業務を負う旨をその契約書に定めること。
共通費実態調査	本工事は、受注者による営繕工事の実施状況を費用の面から把握し、発注者における工事費積算に適切に反映することを目的とした、共通費調査の対象工事に指定することがある。なお、調査票は、監督職員から配布するものとする。調査票等については、対象工事完成後1ヵ月を目途に提出することとし、これ等に要する費用は受注者の負担とする。

建設機械の選定	工事に使用する建設機械は以下による。 「低騒音型・低振動型建設機械の指定に関する規程」（改正平成13年4月9日 国土交通省告示第487号）に基づき、指定された機械を使用する。本工事において、以下に示す建設機械を使用する場合は、国土交通省「排出ガス対策型建設機械指定要領」に基づき指定された排出ガス対策型建設機械及び平成7年度建設技術評価制度公募課題「建設機械の排出ガス浄化装置の開発」、またはこれと同等の開発目的で実施された民間開発建設技術審査・証明事業により評価された排出ガス浄化装置を装着した建設機械を使用するものとする。ただし、道路運送車両法の保安基準に排出ガス基準が定められている自動車の種別で、有効な自動車車検証の交付を受けているものは除く。 その旨を施工計画書に記載し監督職員の確認を受けるとともに、現場代理人は施工現場において使用する建設機械の写真撮影を行い、監督職員に提出するものとする。 なお、これによりがたい場合は、監督職員と協議するものとする。
---------	--

対 象 機 種	形 式	規 格
バックホウ	油圧式ローラ型	ディーゼルエンジン
ブルドーザ	普通、湿地、リッパ装置付	（エンジン出力7、5
トラクターショベル	ホイール型	kW以上260kW以下）を搭載した建設機械に限る。
発動電動機	可搬式、溶接兼用機を含む	
空気圧縮機	可搬式	
油圧式杭圧入引抜機		ただし、道路運送車両法の排出ガス規制を受けている建設機械は除く。
ローラ	ロードローラ、タイヤローラ、振動ローラ	
ホイールクレーン	ラフテレーンクレーン	

揮発性有機化合物対策	揮発性有機化合物が含有しているおそれのある材料については、安全データシート等により確認を行い、極力揮発性有機化合物が少ない材料、または含有していない材料の使用に努めること。使用する材料はF☆☆☆☆等の規制対象外材料を基本とし、該当する材料がない場合はF☆☆☆☆又は同等品とすること。 また、施工時・完了後引渡し前においては、揮発性有機化合物の放散を促進するため、繰り返し換気を行わなければならない。
------------	--

揮発性有機化合物の室内濃度測定	○対象工事 測定対象工事の受注者は、検査機関（計量法第122条に定める計量士を配置し、計量法第107条に定める計量証明事業登録を行っている機関等）に依頼し揮発性有機化合物の室内濃度測定を行い、基準値以下であることを確認の上、測定結果を監督職員に提出しなければならない。 （1）測定物質 ホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼン、スチレン、パラジクロロベンゼン （2）測定方法 札幌市公共建築物シックハウス対策指針及び同解説に基づき、拡散法（パッシブ法）により測定する。 （3）測定時期及び箇所（測定位置等は監督職員と協議のこと） ○施工前 箇所 ○施工後 箇所
公共建築物の環境配慮	工事の施工にあたっては、本市の「環境方針」「札幌市公共建築物環境配慮ガイドライン」の意図を理解し、環境に配慮した施工に努めること。
グリーン購入	「札幌市グリーン購入ガイドライン」により環境負荷の低減を考慮した材料等を選定し、グリーン購入の推進に努めること。 資材（材料及び機材を含む）の梱包及び容器は、可能な限り簡易であって、再生利用の容易さ及び廃棄時の環境負荷低減に配慮されたものを使用するよう努めること。

施工条件	改修工事における建物内（外構、屋外工事は除く）の積算上の施工区分は以下による。 ●全館無人改修 ○執務並行改修
------	---

札幌市都市局建築部	課 名	課 長	係 長	設計主任	製 図	年 月 日	工 事 名	図 番
	電気設備課						リフレサッポロ改修強電設備工事	E SCALE 1
							特記仕様書 1	

<p>法令等の遵守 当該工事における適用法令等を遵守し、必要となる法令等を特定した上で、その一覧（適用法令・要領・要綱・指針・基準・届出時期等）を作成し施工計画書に明示すること。また、監督職員に法令等の遵守状況を月報等で報告し、しゅん功時には届出書（写）を提出すること。</p> <p>不法無線局及び違法無線局対策 受注者は、電波法令を遵守し、不法無線局（電波法に規定する免許または登録をせずに開設する無線局 例：不法アマチュア局、外国製無線機（FRS/GMRS）など）及び無線局の違法な運用（免許または登録を受けていながら、電波法の範囲を逸脱して使用することなど 例：7m7局を使用した業務連絡など）を行ってはならない。</p> <p>苦情の対応 当該工事における苦情への対応及び報告書（札幌市指定様式）について、施工計画書に明示すること。また、監督職員にその都度報告し、指示を受けること。しゅん功時には報告書（写）を提出すること。</p> <p>建設副産物対策 （１）受注者は、「建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律」（建設リサイクル法）の対象となった場合は次の項目に挙げた事項について措置を講ずること。 ①「建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律」を厳守し、再生資源の十分な利用及び廃棄物の減量等を通じて、資源の有効な利用の確保及び廃棄物の適正な処理を図り、生活環境の保全に努めること。 ②工事に着手する前に別途指示する「再生資源利用計画書」及び「再生資源利用促進計画書」を作成し、監督職員に説明の上提出するとともに、特定建設資材廃棄物の再生資源化等が完了したときは、実施書によりその実施状況を報告すること。 ③本法律の対象となった場合は、契約等の新たな手続きが必要となるので留意すること。 （２）受注者は、「建設副産物適正処理推進要綱」を厳守して、建設工事の円滑な施工の確保及び生活環境の保全に努めるものとする。 ①受注者は、工事着手時に別途指示する再生資源利用計画書（建設資材を搬入する場合）及び再生資源利用促進計画書（建設副産物を搬出する場合）を作成し、監督職員に提出するとともに、工事完了時には、実施書によりその実施状況を報告すること。（契約金額100万円以上の工事に適用する。）</p> <p>発 生 材 発生材は廃棄物の処理及び清掃に関する法律等に基づき指定された処理施設へ適切に処分すること。 本工事で発生する建設副産物の処理方法は、下記のとおりとする。また処理施設については、原則として札幌市内の処理施設とし、受入条件等を確認のうえ、事前に監督職員と協議すること。 提出先の指定の無きものは「産業廃棄物処理業者名簿」を参照し、適切に処理、処分すること。 (http://www.city.sapporo.jp/seiso/jigyousyo/sanhai_meibo/sanhai_meibo.html)</p> <p>（１）再生資源化施設へ搬出（搬出を行った後、調書を監督職員に提出する。）</p> <ul style="list-style-type: none"> ○アスファルトコンクリート塊 ●コンクリート塊、コンクリートブロック ●金属くず ○木くず ○混合廃棄物（分別不能な廃棄物） ○廃石膏ボード ○廃プラスチック類 ●廃蛍光管類 ●水銀ランプ・ナトリウムランプ 	<p>（２）その他の施設へ搬出</p> <ul style="list-style-type: none"> ○汚水（舗装切断汚水） ●建設発生土の処理： ●指定地へ搬出（●堆積 ○敷均し） 搬出先（ストックヤード(山本資材置場)厚別区厚別町山本1063-18) ○構内指示の場所に運搬（○堆積 ○敷均し） ○引渡を要する発生材：調書を監督職員に提出し下記の保管場所に保管すること。（保管場所： ） <p>（３）特別管理産業廃棄物</p> <ul style="list-style-type: none"> ○引火性廃油 ○廃強酸 ○廃強アルカリ ○PCB ○飛散性アスベスト ○その他（ ） アスベスト含有製品の処理については、別項目「アスベスト含有製品の処理等」による。 ○「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」第12条の2に基づき、特別管理産業廃棄物管理責任者を選任し管理させること。 <p>（４）有価金属</p> <ul style="list-style-type: none"> ・有価金属は下記の業者で処分すること。 <ul style="list-style-type: none"> ①札幌市競争入札参加資格者：物品・役務関係・再生資源関係業者 ②廃棄物再生事業登録業者（知事登録） ③金属くず商許可業者（警察許可） なお、搬出を行った際、領収書又は取引伝票及び許可証等の写しを監督職員に提出すること。 ○有価金属は、材料引渡リストを作成し、下記保管場所に保管すること。（保管場所： ） <p>（５）産業廃棄物運搬車両表示</p> <p>産業廃棄物を自己運搬する際に使用する車両には「廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条」により定められた表示を行うとともに、その運搬車に必要な書面を備え付けること。（同法施行規則第7条の2第3項及び第7条の2の2）</p> <p>ISO9001の適用について</p> <p>受注者は、ISO認証取得を活用した監督業務等の取扱いの適用を希望するときは、下記①から④までの書類の写しを提出し、工事監督職員と協議のうえ活用工事とすることができる。ただし、低入札価格調査等の対象となった場合を除く。</p> <ul style="list-style-type: none"> ①ISO9001認証の取得に係る登録証の写し ②ISO9001の審査に係る書類（合否判定結果及び審査報告書） ③工事を担当する内部組織が、ISO9001認証を取得していることを示す書類 ④ISO9001認証の範囲が工事の内容に一致していることを示す書類 ただし、①で内容が確認できる場合は③、④は不要 <ul style="list-style-type: none"> ・活用工事の取消しの申し出 ISO9001認証が取り消され、又はその維持が困難と見込まれるときは、速やかに工事監督職員に申し出なければならない。 ・活用工事の取扱いの中止 上記活用工事の取消しの申し出、又は受注者の検査記録の確認及び品質マネジメントシステムの運用状況の把握を行った結果、不適合が多いと認められたときは、この取扱いを中止し、通常の監督業務を実施するものとする。 ・品質マネジメントシステムの取扱い （１）受注者は、品質マネジメントシステムに基づき作成する品質計画書に記載すべき事項は、品質方針及び品質目標の他に下記に示す項目を施工計画書に記載し、工事着手前までに工事監督職員に提出し、承諾を得なければならない。 	<ul style="list-style-type: none"> １）検査計画及び確認・立会計画 ２）各監視、測定（検定）の担当者及び承認者、資格 ３）当該工事現場に対する内部監査計画 ４）監視機器及び測定機器管理計画 ５）トレーサビリティ管理計画 ６）不適合管理計画 <p>（２）特定共同企業体の場合は、その代表者の品質マネジメントシステムを共同企業体の品質マネジメントシステムとして適用するものとする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・工事管理 工事管理にあたっては「公共建築におけるISO9001：2000適用 電気設備工事施工管理要領（公共建築協会）」を参考とする。 <p>アスベスト含有製品の処理等</p> <p>アスベストの処理については、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」等の関係法令と併せて「札幌市特定粉じん排出等作業における飛散防止対策マニュアル(事業者向け)」に従い、必要な措置をすること。 (http://www.city.sapporo.jp/kankyo/taiki_osen/kisei/asbesto/syori.html)</p> <p>１．事前調査等</p> <ul style="list-style-type: none"> （１）施工計画書の作成にあたっては、「アスベスト調査票」並びに「当該施設のしゅん功図等」を貸与するので、図面及び現場の目視調査で施工場所におけるアスベスト及びその他有害物質の有無を確認すること。なお、確認結果は含有の有無に関わらず公衆の見やすい場所に掲示すること。 （２）アスベスト及びその他有害物質の使用が不明な見え隠れ部分の調査については、保護具を装着して、必要に応じて建材を湿潤に保ちながら手ばらしで行い、新たにアスベスト及びその他有害物質を発見した場合には、速やかに作業を中止し、監督職員と施工方法等について協議すること。 （３）電気機器にもアスベストが含有している恐れがあるため、調査を行うこと。 <p>２．作業管理者</p> <p>アスベストが飛散する恐れのある作業や含有建材を取り扱う場合は、「石綿作業主任技能講習終了者」または平成18年3月以前の「特定化学物質等作業主任者」等の資格を有する作業管理者を選任し、管理させること。</p> <p>３．アスベスト含有製品の処理等</p> <ul style="list-style-type: none"> （１）アスベスト含有製品の仕様 <table border="1" data-bbox="1721 1260 2166 1512"> <tbody> <tr><td>○耐火二層管</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>○フランジパッキン</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>○ダクトパッキン</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>○石綿セメント板</td><td>厚さ</td><td>mm</td><td></td></tr> <tr><td>○化粧石綿セメント板</td><td>厚さ</td><td>mm</td><td></td></tr> <tr><td>○吸音穴あき石綿セメント板</td><td>厚さ</td><td>mm</td><td></td></tr> <tr><td>○石綿セメントサイディング</td><td>厚さ</td><td>mm</td><td></td></tr> <tr><td>○石綿セメント珪酸カルシウム</td><td>厚さ</td><td>mm</td><td></td></tr> <tr><td>○化粧石綿セメント珪酸カルシウム</td><td>厚さ</td><td>mm</td><td></td></tr> <tr><td>○押出成形セメント板</td><td>厚さ</td><td>mm</td><td></td></tr> <tr><td>○ビニル床タイル</td><td>厚さ</td><td>mm</td><td></td></tr> <tr><td>○その他（</td><td>厚さ</td><td>mm)</td><td></td></tr> </tbody> </table> 処理を行う範囲は、図示による。 （２）施工調査 アスベスト含有製品の撤去にあたり、あらかじめ事前の施工調査を次の事項について行う。調査結果は、図面により記録し、監督職員に提出する。 <ul style="list-style-type: none"> ①アスベスト含有製品使用部位の確認 ②アスベスト含有製品の種類、厚さ等の確認 ③アスベスト含有製品使用数量の確認 ④施工範囲等の確認 なお、含有製品の使用部位、種別または使用範囲等に変更が生じた場合は、監督職員と協議のこと。 	○耐火二層管				○フランジパッキン				○ダクトパッキン				○石綿セメント板	厚さ	mm		○化粧石綿セメント板	厚さ	mm		○吸音穴あき石綿セメント板	厚さ	mm		○石綿セメントサイディング	厚さ	mm		○石綿セメント珪酸カルシウム	厚さ	mm		○化粧石綿セメント珪酸カルシウム	厚さ	mm		○押出成形セメント板	厚さ	mm		○ビニル床タイル	厚さ	mm		○その他（	厚さ	mm)		<p>（３）作業標準</p> <p>アスベスト含有製品処理作業の標準</p> <ul style="list-style-type: none"> ① アスベスト含有製品の撤去 <ul style="list-style-type: none"> （ア）アスベスト含有製品の撤去は、内装材及び外部建具等の撤去に先がけて行う。 （イ）建物内部で撤去作業を行う場合は、外部建具を閉鎖するとともに、ガラスの破損箇所又は換気扇枠等で粉じんが外部に飛散するおそれがある箇所をビニールシート等で塞ぐものとする。 （ウ）アスベスト含有製品の撤去は、可能な限り破損又は破断を伴わない方法で行うものとし、原則として「手ばらし」とする。なお、建物外部のアスベスト含有製品を撤去する場合は、出来る限り原形のまま撤去する。 （エ）撤去作業中は、散水その他の方法により、アスベスト含有製品を常に湿潤な状態として作業を行う。 （オ）撤去作業者には、防じんマスク、防護メガネ及び作業衣を着用させる。 （カ）撤去作業後、アスベスト含有製品の破片、破断粉及び作業衣等に付着した粉じんが残存しないよう、真空掃除機等により、清掃及び後片付けを十分に行う。 ② アスベスト含有製品の集積、運搬等 <ul style="list-style-type: none"> （ア）撤去したアスベスト含有製品の集積及び積み込みにあたっては、高所より投下しないことその他、粉じんの飛散防止に努める。 （イ）細かく破砕されたアスベスト含有製品は、湿潤化の上、丈夫なビニール袋に入れる等、飛散防止の措置を講じる。 （ウ）撤去したアスベスト含有製品を運搬するまでの間、現場内に保管する場合は、一定の保管場所を定め、一般の内装材と分別して保管するものとし、シートで覆う等、飛散防止の措置を講じる。また、保管場所には、アスベスト含有製品の保管場所であることの表示を行う。 （エ）アスベスト含有製品の運搬にあたっては、運搬車両の荷台全体をシート等で覆い、飛散防止に努める。 （オ）アスベスト含有製品の撤去、集積、積み込み及び保管等の処理が完了した場合は、速やかに監督職員に報告し、確実に処理されたかの確認を受ける。 ③ アスベスト含有製品の処分等 <ul style="list-style-type: none"> （ア）アスベスト含有製品は、「４．発生材の処理」で示す処分場で処分する。 なお、マニフェストには、アスベスト含有製品であることを明示する。 （イ）撤去されたアスベスト含有製品の処分が完了した場合は、マニフェストを監督職員に提出し、処分が確実に行われたことの確認を受ける。 <p>４．発生材の処理</p> <p>本工事で発生する建設副産物の処理方法、処分場所等への処理条件は下記のとおりとする。 なお、変更が生じた場合は監督職員と協議のこと。 処分施設への搬出（調書を監督職員に提出する）</p> <ul style="list-style-type: none"> ○飛散性アスベスト： 搬出先（参考）山口処理場（手稲区手稲山口364） ○非飛散性アスベスト： 搬出先（参考）角山開発㈱（江別市角山425番地） 搬出先（参考）㈱協和環境サービス（江別市江別太420番地） <p>特定住宅瑕疵担保責任の履行の確保等に関する法律について（公住用）</p> <p>耐震措置</p> <p>「建築設備耐震設計・施工指針2014年版」（日本建築センター発行）に基づき、耐震施工を行う。（重量機器については、監督職員と協議し、計算書を提出すること）</p> <ul style="list-style-type: none"> ●一般の施設 ○特定の施設
○耐火二層管																																																			
○フランジパッキン																																																			
○ダクトパッキン																																																			
○石綿セメント板	厚さ	mm																																																	
○化粧石綿セメント板	厚さ	mm																																																	
○吸音穴あき石綿セメント板	厚さ	mm																																																	
○石綿セメントサイディング	厚さ	mm																																																	
○石綿セメント珪酸カルシウム	厚さ	mm																																																	
○化粧石綿セメント珪酸カルシウム	厚さ	mm																																																	
○押出成形セメント板	厚さ	mm																																																	
○ビニル床タイル	厚さ	mm																																																	
○その他（	厚さ	mm)																																																	
<h1 style="text-align: center;">札幌市都市局建築部</h1>	<h2 style="text-align: center;">電気設備課</h2>	課長 係長 設計主任	製 図	年 月 日	工 事 名 リフレサッポロ改修強電設備工事	図 番 E / 2																																													
				図 面 名 特記仕様書 2	SCALE _____																																														

●受変電設備	<p>施設場所 ●屋内 ○屋外</p> <p>方式 ●キュービクル式 ○開放形</p> <p>主しや断装置 ●CB型 ○PF-S型</p> <p>変圧器容量 1φ 150kVA×2台、100kVA×1台 3φ 300kVA×1台、200kVA×1台 合計容量 900kVA</p>
●幹線設備	<p>電線・ケーブル 動力幹線 ●EM-CE ●EM-CET ○EM-IE 電灯幹線 ●EM-CE ●EM-CED ○EM-IE</p> <p>○ケーブルラック W=</p>
●動力設備	<p>電気方式 3相3線式 200V 50Hz</p> <p>施工範囲 別途制御盤、電動機、フロートスイッチへの配線及び接続までとする。</p> <p>電線管 金属製可とう電線管とする。屋外、水気のある場所では、ビニル被覆金属製可とう電線管とする。</p> <p>主要用途</p>
●電灯設備	<p>電気方式 幹線 単相3線式 200V/100V 50Hz 分岐 電灯回路 単相2線式 100V 50Hz コンセント回路 単相2線式 100V 50Hz</p> <p>スイッチ ●大型配線器具（プレートは【●新金 ○樹脂 製とする】） 取付高さ 一般1.3m</p> <p>コンセント ●大型配線器具（プレートは【●新金 ○樹脂 製とする】） 取付高さ 一般●0.3m ○0.5m</p> <p>吊ボルト 吊ボルトは9mm以上とし、スラブその他の構造体より支持を出すこと。支持点数は標準図第2編「電力設備工事」（電力2）による背面形式における器具取付穴ボルト数とする。</p> <p>照明制御方式 ●フル2線方式 ○ワンショット方式 ●片切りスイッチ</p> <p>接地 照明器具の接地は公共建築工事標準仕様書（電気設備工事編）第2編 2.13.7によるものとし、ケーブル配線の場合EM-IE1.6mm以上にて接地を取ること。</p> <p>照明器具 公共施設用照明器具とする。</p>
●電熱設備	<p>暖房方式 ●電気暖房（サウナ用） ○ガス暖房 ○蓄熱暖房 ○灯油暖房</p> <p>電気方式 三相3線式 200V 50Hz</p> <p>監視方式 ○集中監視盤 ○グラフィックパネル ○タイマー ●コントローラー ●サーモスタット ○温度調節器（白金測温抵抗体）</p> <p>現場制御盤 ○サイリスタ方式 ●マグネット方式 ○無</p> <p>暖房機 ●サウナヒータ ○ベースボードヒータ ○蓄熱暖房器 ○別途 ○パネルヒータ ○ヒーティングケーブル（床暖房）</p> <p>施工範囲 ○配管 ○配線 ●機器取付</p>

○自動火災報知設備	<p>受信機 型 級 回線（○単独盤 ○複合盤）</p> <p>連動制御盤 回線（○単独盤 ○複合盤）</p> <p>発信機 P型 1級（○単独盤 ○総合盤）</p> <p>地区ベル ○電鈴 150φ（○埋込型 ○露出型） ○無</p> <p>機器取付方法 ○総合盤 ○消火栓箱組込（別途） ○単独設備</p> <p>感知器 確認ランプ付</p> <p>施工範囲 ○配管 ○配線 ○機器取付</p> <p>立会検査 ○有 ○無</p>
○拡声設備	<p>アンプ W（○調整卓型 ○卓上型）</p> <p>非常放送用アンプ W 局</p> <p>施工範囲 ○配管 ○配線 ○機器取付</p>
○テレビ共聴設備	<p>アンテナ ○ステンレス ○アルミ ○UHF 20素子</p> <p>直列ユニット ○埋込型（○1端子 ○2端子）</p> <p>同軸ケーブル 低損失型</p> <p>施工範囲 ○配管 ○配線 ○機器取付</p>
○構内交換設備	<p>施工範囲 ○配管 ○配線 ○機器取付 従事者に工事担任者（○第1級アナログ通信○第2級アナログ通信○第1級デジタル通信○第2級デジタル通信）の資格が必要な施工</p> <p>機器 ○主装置 ○電子ボタン電話機</p> <p>電線・ケーブル 1. 端子盤～電話機 2. 配線盤～端子盤</p>
○インターホン設備	<p>施工範囲 ○配管 ○配線 ○機器取付</p> <p>電線・ケーブル</p> <p>機器種別及び機能</p>
○電気時計設備	<p>施工範囲 ○配管 ○配線 ○機器取付</p> <p>機器 ○親時計 ○子時計</p> <p>電線・ケーブル</p>
○雷保護設備	<p>受雷部 ○突針 ○水平導体又はメッシュ導体 ○棟上導体</p> <p>引下げ導体システム ○引下げ導線 ○構造体利用引下げ導線</p> <p>接続箱 ○要 ○不要</p>

○ロードヒーティング設備	<p>変圧器容量 1φ kVA×台 3φ kVA×台 合計容量 kVA</p> <p>電気方式 幹線 相 線式 V 50Hz 総電力 kW 分岐 相 線式 V 50Hz 総電力 kW</p> <p>設計発熱量 W/m²</p> <p>ヒーティングケーブル ○汎用 ○耐圧用</p> <p>制御 ○遠隔制御 ○温度調節器（白金測温抵抗体） ○温度センサ ○水分センサ ○降雪センサ ○プログラムタイマ制御</p> <p>契約電力 ○融雪電力 ○従量電灯B ○その他（ ）</p> <p>代表監視 ○有 ○無</p> <p>その他</p>
●屋外照明設備	<p>施工範囲 ○配管 ○配線 ●機器取付</p> <p>電気方式 単相2線式 200V 50Hz</p> <p>引込方式 ○架空単独 ○架空連接 ○地中単独 ●地中連接</p> <p>ポール ●段付丸ポール ○デザイン灯型</p> <p>灯具 ○公園灯用 ○市住用 ○デザイン灯型 ●投光器型</p> <p>ランプ LED灯 5600LM</p> <p>点滅方式 ○自動点滅器 ●タイマー</p> <p>その他 ポール地際部には防食処置を施すこと。</p>
○構内情報通信設備	<p>施工範囲 ○配管 ○配線 ○機器取付 従事者に工事担任者（○第1級デジタル通信○第2級デジタル通信）の資格が必要な施工</p>
○太陽光発電設備	<p>施工範囲 ○配管 ○配線 ○機器取付</p> <p>太陽電池モジュール 総容量 kW</p> <p>パワーコンディショナ 方式 単相 3線式 200/100V 総容量 kW</p>
○監視カメラ設備	<p>施工範囲 ○配管 ○配線 ○機器取付</p> <p>ケーブル ○UTP ○光ファイバケーブル ○同軸ケーブル</p>
●構内配電線路	<p>電気方式 ●高圧 ○低圧</p> <p>配線方式 ●地中 ○架空</p> <p>ケーブル ●EM-CET ○その他（ ）</p> <p>保護材料 ○FEP ○厚鋼電線管 ○白ガス管</p>

○構内通信線路	<p>施工範囲 ○配管 ○配線 ○別途工事</p> <p>配線方式 ○地中 ○架空</p> <p>ケーブル</p>
●非常用発電設備	<p>施工範囲 ○配管 ○配線 ●機器取付</p> <p>電線・ケーブル</p> <p>機器種別及び機能</p>
●電力貯蔵設備	<p>施工範囲 ○配管 ○配線 ●機器取付</p> <p>電線・ケーブル</p> <p>機器種別及び機能</p>

<h1>札幌市都市局建築部</h1>	課 名	課 長	係 長	設計主任	製 図	年 月 日	工 事 名	図 番
	電 気 設 備 課						リフレサッポロ改修強電設備工事	E
							図 面 名 特記仕様書 3	SCALE 3

工事区分

項目	建築	電気	機械	備考
躯体の設備配管用スリーブ及びボックス入れ	○	○	○	
同上スリーブ補強	○	○	○	
天井壁取付け設備機器用穴あけ及び補強	○	●	●	すみ出しは設備
設備用天井・床下点検口	●	○	○	位置は協議、すみ出し・施工は建築
設備機器用穴あけ及びモルタル充填・断熱材補修	○	●	●	
設備用機器基礎	○	○	○	
換気扇等の取付け用枠	○	○	○	
設備機器取付け用下地補強	○	○	○	

工事記録写真撮影要領

工事写真

- 次項以下によるもの以外については国土交通大臣官房官庁営繕部編管工写真撮影要領(平成31年版)・同工事写真撮影ガイドブック(平成30年版)、電気設備工事仕様書(札幌市都市局建築部)記載の工事写真撮影要領による。
- 撮影対象及び枚数
 - 工事写真は主として工事の不可視部分及びその施工の状況についてスケール等を含めて撮影する。
 - 撮影対象及び枚数については監督職員の指示による。
- 撮影方法
 - 写真記録員

受注者は内容及び目的を理解している者を写真記録員に定め撮影及び記録を行う。
 - 撮影条件の明示

原則として写真の一部に工事名、撮影位置、撮影年月日及び撮影対象の設計寸法又は数量(略図で示してよい)を記入した小黒板を入れる。なお、監督職員との協議により、小黒板情報電子化を行うことができる。撮影時に監督職員の立会を受けた場合のみサイン(監督職員自身の)を記入する。
 - 寸法の明示

撮影対象には必要に応じ規準線(下げ振り、水糸等で示す)を明示し、主要寸法が読み取れるような目盛り(スタッフスケールテープ、リボンテープ等)を入れて撮影する。
- 写真の整理
 - 監督職員への提示

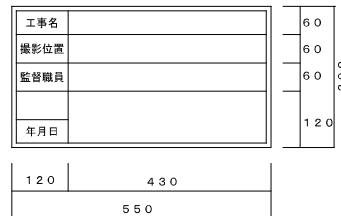
撮影の都度写真をアルバムに整理し、監督職員の要求があった時は、遅滞なく提出する。
 - 写真の大きさ

L版(サービスサイズ程度)とする。
 - アルバム

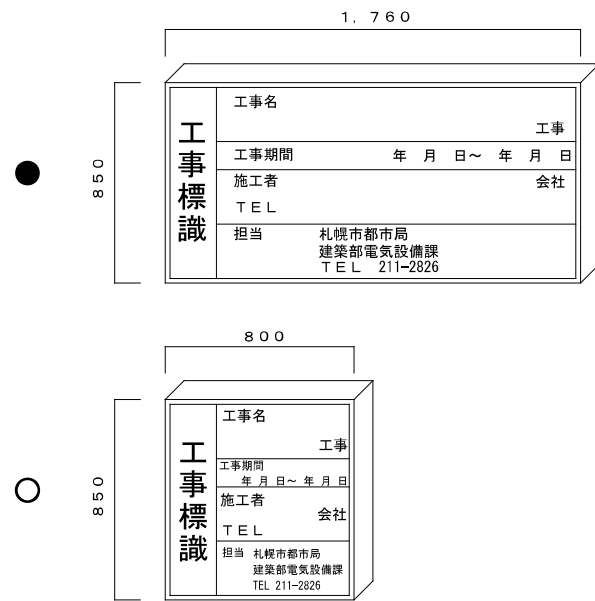
写真はA4版ファイルに整理し、表紙に工事名・工期・受注者名を明記すること。
 - デジタルカメラの使用について

カメラの記録画素数は、1280×960以上を基準とする。印刷等の出力については、①プリンターはフルカラーで300dpi以上、②用紙インク等は通常の使用のもとで5年間程度に顕著な劣化を生じないものを使用する。また、ネガフィルムに代えて、写真データ(JPEG形式)をCD-R等に記録したものを提出すること。その他は1.~3.を適用する。

小黒板の寸法(参考)

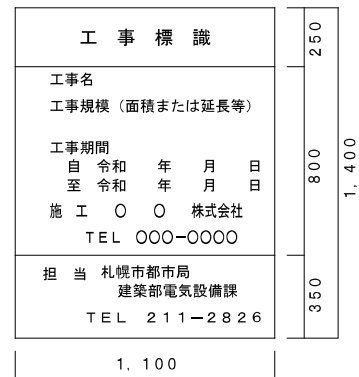


工事標識



表面材：着色カラー鉄板白色厚0.35mm 文字は黒色

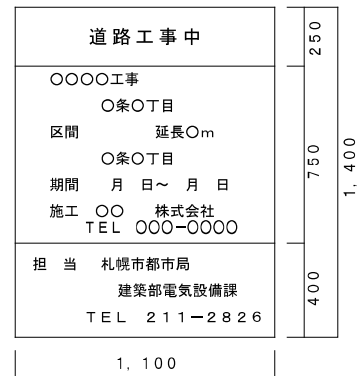
様式1(街路灯工事)



様式2(街路灯工事)



様式3(街路灯工事)



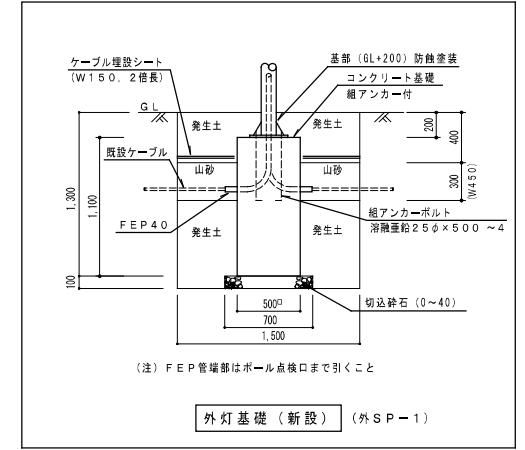
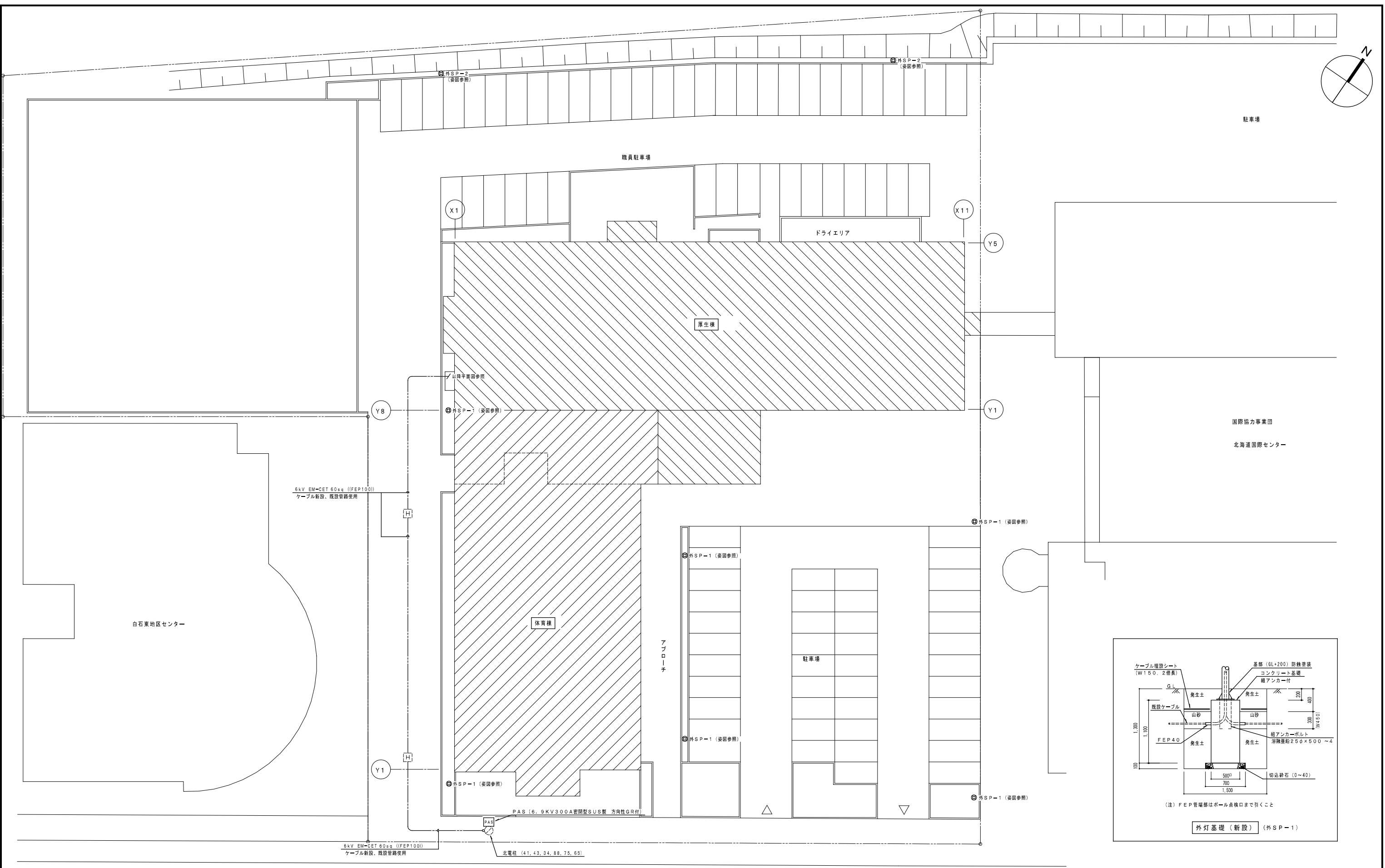
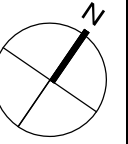
様式1~3の表面材：着色カラー鉄板白色。文字は、長期にわたり変色しないものを使用し、「工事標識」「お願い」「道路工事中」は反射材料(赤)を用い、他の部分は(青)を用いる。工事看板を小さくする(1,100→550)場合は、施工協議簿により監督員の承認手続きをとること。

- 対象
- 週末2日試行工事の実施について
- 受注者は、週末2日による施工を希望する場合、契約後、発注者へ協議を行い、協議が整った場合に週末2日による施工を行うことができる。
 - 週末2日とは、対象期間において、土日・祝日に関わらず、週末2日(4週8休)以上の現場閉所(現場休息)を行うことをいう。対象期間は、工事着手日(現場に継続的に常駐した最初の日)から工事完成日までの期間をいう。なお、年末年始6日間、夏季休暇3日間、工場製作のみを実施している期間、工事全体を一時中止している期間のほか、発注者があらかじめ対象外としている内容に該当する期間(受注者の責によらず現場作業を余儀なくされる期間など)は含まない。
 - 現場閉所とは、巡回パトロールや保守点検等、現場管理上必要な作業を行う場合を除き、現場が閉所された状態をいう。なお、降雨、降雪などによる予定外の現場閉所日についても現場閉所日に含める。
 - 現場休息とは、分離発注工事の場合に、各発注工事単位で、現場事務所での作業を含めて1日を通して現場作業が無い状態をいう。
 - 週末2日(4週8休)以上とは、対象期間内の現場閉所(現場休息)日数の割合(以下、「現場閉所(現場休息)率」)が28.5%(8日/28日)以上の水準に達する状態をいう。
 - 週末2日の確保の取組は、将来の担い手確保、入職しやすい環境づくりを目指すものであることから、週末2日による施工を実施する受注者は、その趣旨に沿った休日の取得に努める。
 - 週末2日の実施の確認方法は、次によるものとする。
 - 受注者は、週末2日の計画工程表を施工計画書に添付し発注者へ提出する。
 - 受注者は、実施結果を工事月報等により定期的に発注者へ報告する。
 - 週末2日の実施状況について、発注者が必要に応じて聞き取り等の確認を行う場合には、受注者は協力する。
 - 週末2日を実施したことが認められる場合は、設計変更により工事別に以下の経費の補正を行う。現場閉所(現場休息)の状況に応じた補正係数により労務費(予定価格のもととなる工事費の積算に用いる複合単価、市場単価及び物価資料の掲載価格(材工単価)の労務費)を補正する。なお、4週6休に満たない場合は、変更の対象としない。
 - 4週8休以上(現場閉所(現場休息)率28.5%(8日/28日)以上の場合)補正係数1.05

- 4週7休以上4週8休未満(現場閉所(現場休息)率25%(7日/28日)以上28.5%未満)補正係数1.03
 - 4週6休以上4週7休未満(現場閉所(現場休息)率21.4%(6日/28日)以上25%未満)補正係数1.01
- (10)「週末2日試行工事」の検証を行うため、受注者を対象としたアンケート調査に協力する。なお、アンケートは工事管理室ホームページ(http://www.city.sapporo.jp/zaisei/kojikansa/kantoku/kantoku_kensa.html)に掲載している。
- (11)その他の事項については、週末2日試行工事要領による。

札幌市都市局建築部

電気設備課



注記：柱上作業用に高所作業車（12m）3日分を見込むこと。（参考）

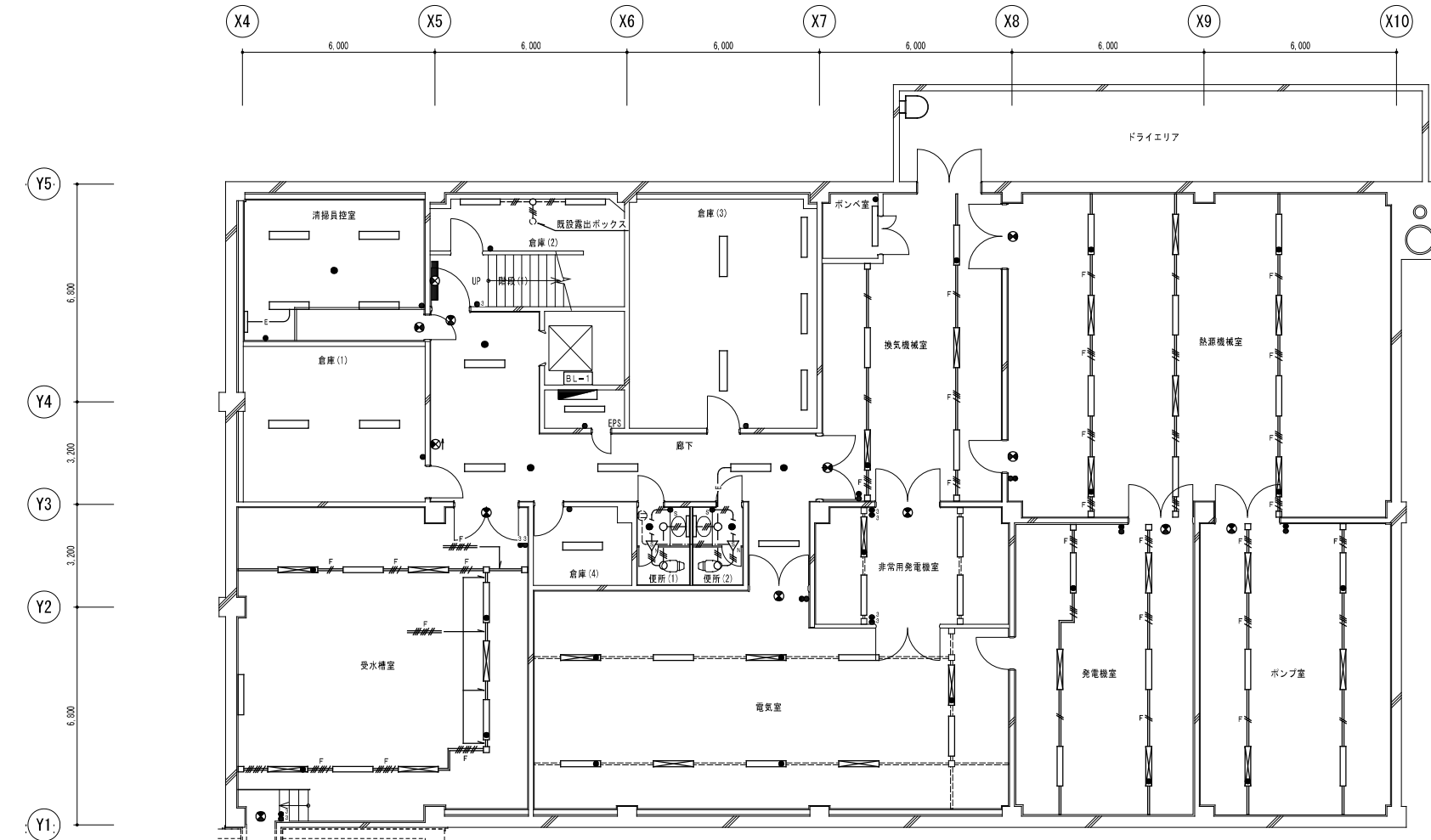
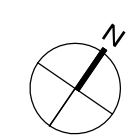
十七丁目南

構内配電線路図 S=1/200

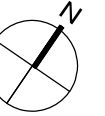
	一級建築士事務所 株式会社 共伸設備設計事務所	北海道知事登録 (石)第 3038号 一級建築士登録 第230654号 設備設計一級建築士登録 第 206号 早川 浩基	承認 	担当 	製図 	縮尺 1/200 設計年月日 R 3. 10	工事名 リフレサッポロ改修強電設備工事 図面名 構内配電線路 (改修後)	図番 E-06
	株式会社 共伸設備設計事務所							

凡 例	
	電灯分電盤 (分電盤接続参照)
	LED照明器具 40形
	LED照明器具 20形
	LED照明器具 40形・LED非常灯 (電源別置) 結込
	LED照明器具 40形 (保安照明)
	LED照明器具 スクエア形
	LEDダウンライト・シーリングライト
	LEDダウンスポットライト
	LEDブラケットライト
	LED投光器
	非常灯 (電源別置型)
	階段通路誘導灯 (電池内蔵型)
	避難口誘導灯 (電源内蔵型)
	通路誘導灯 (天井付) (電源内蔵型)
	通路誘導灯 (壁付) (電源内蔵型)
	避難器具標示灯 (電源内蔵型)
	埋込スイッチ 1P15A
	埋込スイッチ 1P15A (LED ON)
	埋込スイッチ 3W15A
	フル2線式リモコンスイッチ
	ライトコントロール
	ガードプレート (キー付)
	人感センサー
	人感センサー子機
	センサー用切替スイッチ (自動-切-手動)
	天井内ジャンクションボックス OB102×54
	丸形露出ボックス
	メタルモールコーナーボックス (A型)
	メタルモールコーナーボックス (B型)
	プルボックス SS 200×200×200
	既設プルボックス
	(再) 既設照明器具再取付
特記なき配管・配線は下記による。	
	EM-1E 2.0×3 (E19) 露出配管
	EM-EF 2.0-2C 天井内配線
	EM-EF 2.0-3C 天井内配線
	EM-EF 2.0-2C ~2 天井内配線
	EM-EF 2.0-3C +2C 天井内配線
	EM-FP 3.5sq-2C 天井内配線
	EM-1E 1.6 (ED) 天井内配線
	EM-FCPEE 1.2-1P 天井内配線
	EM-FCPEE 1.2-1P (MM1A)
	レースウェイ (30×40)、蓋付
	EM-1E 2.0×2 (レースウェイ)
	EM-1E 2.0×3 (レースウェイ)
	EM-1E 2.0×4 (レースウェイ)
	EM-1E 2.0×5 (レースウェイ)
	EM-1E 2.0×7 (レースウェイ)
	EM-1E 2.0×2 + EM-FP 3.5sq-2C (レースウェイ)
	EM-1E 2.0×4 + EM-FP 3.5sq-2C (レースウェイ)
	EM-1E 2.0×5 + EM-FP 3.5sq-2C (レースウェイ)
	EM-1E 2.0×7 + EM-FP 3.5sq-2C (レースウェイ)
	EM-1E 2.0×8 + EM-FP 3.5sq-2C (レースウェイ)
	レースウェイ分岐ボックス
注記 1. 実物の機器等と記載の記載はすべて新設とする。(継点線機器及び配線は既設)	
2. 照明器具 (非常灯、誘導灯以外) はすべて接地 (ED) を施すこと。	

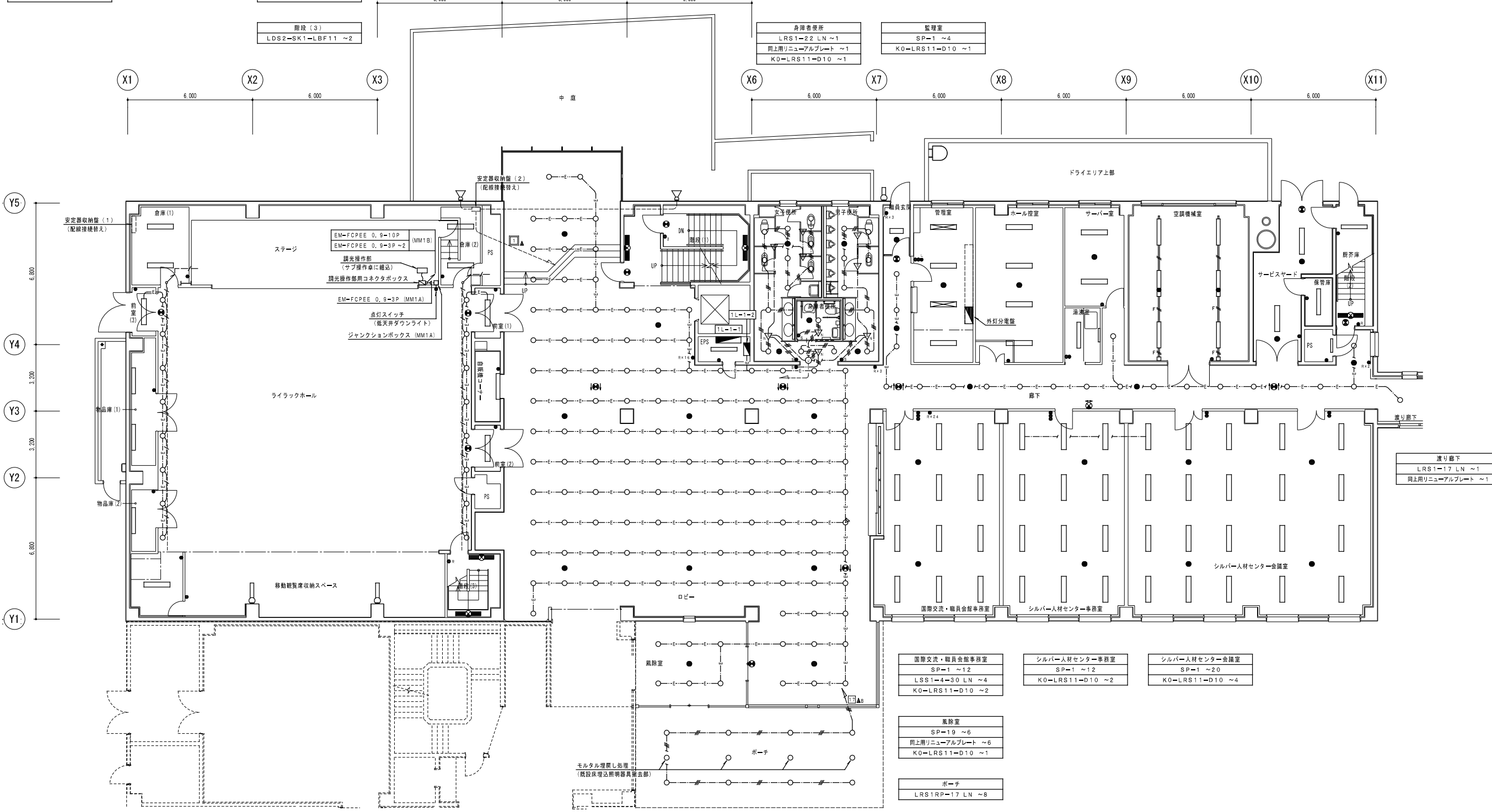
清掃員控室 SP-1 ~4 LSS1-2-15 LN ~1 K0-LRS11-D10 ~1 SH1-FBF20-C ~1 同上用リニューアルプレート ~1	倉庫 (2) LSS1-4-30 LN ~2	倉庫 (3) LSS0-4-48 LN ~3 LSS10-4-48 LN ~2	ポンプ室 LBS5-4-24 LN ~1	熱源機械室 SP-5 (金属板付) ~8 非SP-4 (金属板付) ~4 SH1-FBF20-C ~2 同上用リニューアルプレート ~2
倉庫 (1) LSS10-4-48 LN ~2	階段 (1) LDS2-SK1-LBF11 ~1	便所 (1) LSS1-2-15 LN ~1 LRS1-17 LN ~2 K0-LRS11-D10 ~1	換気機械室 SP-5 (金属板付) ~3 非SP-4 (金属板付) ~2 SH1-FBF20-C ~1 同上用リニューアルプレート ~1	発電機室 SP-5 (金属板付) ~4 非SP-4 (金属板付) ~2 SH1-FBF20-C ~1 同上用リニューアルプレート ~1
受水槽室 SP-5 (金属板付) ~5 LBS5-4-24 LN ~1 非SP-4 (金属板付) ~4 SH1-FBF20-C ~1 同上用リニューアルプレート ~1 SH1-FBF20-C ~1 同上用リニューアルプレート ~1	廊下 LRS3-4-30 LN ~1 SP-1 ~4 K0-LRS11-D10 ~3 SH1-FBF20-C ~1 同上用リニューアルプレート ~1 ST1-FBC22-C ~1 同上用リニューアルプレート ~1	便所 (2) LSS1-2-15 LN ~1 LRS1-17 LN ~2 K0-LRS11-D10 ~1	非常発電機室 SP-5 (金属板付) ~3 非SP-4 (金属板付) ~1 SH1-FBF20-C ~1 同上用リニューアルプレート ~1	ポンプ室 SP-5 (金属板付) ~4 非SP-4 (金属板付) ~2 SH1-FBF20-C ~1 同上用リニューアルプレート ~1
	倉庫 (4) LSS10-4-48 LN ~1	電気室 SP-5 (金属板付) ~5 非SP-4 (金属板付) ~5 SH1-FBF20-C ~1 同上用リニューアルプレート ~1		



地下1階平面図 S=1/100



倉庫 (1) LSS9-4-48 LN ~2	ライラックホール LRS1-17 LZ ~16 同上用リニューアブルプレート ~16 SH1-FBF20F-BH ~1 同上用リニューアブルプレート ~1 SH1-FBF20-BH ~2 同上用リニューアブルプレート ~2	倉庫 (2) LSS9-4-48 LN ~2	外壁・中庭 LBF3MP/RP-2-13 LN ~1 SP-15 ~2	ロビー LRS1-17 LN ~120 SP-14 ~1 K0-LRS11-D10 ~9 SH1-FBF20F-BH ~1 同上用リニューアブルプレート ~1 ST1-FRF23P-BH ~3	階段 (1) LDS2-SK1-LBF11 ~2 SH1-FBF20-C ~2 同上用リニューアブルプレート ~2	女子便所 LSS1-4-30 LN ~1 LSS1-2-15 LN ~1 LRS1-17 LN ~11 K0-LRS11-D10 ~2	職員玄関 SP-10 ~1 K0-LRS11-D10 ~1	ホール控室 SP-2 ~4 K0-LRS11-D10 ~1	空調機械室 SP-6 (金網線) ~4 非SP-3 (金網線) ~2	保管庫 LSS9-4-30 LN ~1	階下 LSS1-2-15 LN ~1	階段 (2) LDS2-SK1-LBF11 ~1 SH1-FBF20-C ~1 同上用リニューアブルプレート ~1
前室 (3) SP-1 ~1	移動観覧席収納スペース LSS9-4-48 LN ~1 LSS1-4-48 LN ~2	自販機コーナー LSS1-4-48 LN ~1	前室 (1) SP-1 ~1	EPS SP-6 ~1	男子便所 LSS1-4-30 LN ~1 LSS1-2-15 LN ~1 LRS1-17 LN ~8 K0-LRS11-D10 ~2	廊下 LRS1-17 LN ~20 同上用リニューアブルプレート ~4 K0-LRS11-D10 ~4 SH1-FRF20F-BH ~1 ST1-FRF23P-C ~2 LRS1-17 LN ~8 同上用リニューアブルプレート ~1	サーバー室 SP-1 ~2 K0-LRS11-D10 ~1	サーバーヤード LSS9-4-48 LN ~2 K0-LRS11-D10 ~2 SH1-FBF20-C ~1 同上用リニューアブルプレート ~1	PS LSS1-2-15 LN ~1	湯沸室 LRS9-4-30 LN ~1 LSS1-2-15 LN ~1	階段 (3) LDS2-SK1-LBF11 ~2	
物品庫 (1) LSS5-4-24 LN ~2		前室 (2) SP-1 ~1	階段 (3) LDS2-SK1-LBF11 ~2		身障者便所 LRS1-22 LN ~1 同上用リニューアブルプレート ~1 K0-LRS11-D10 ~1	監視室 SP-1 ~4 K0-LRS11-D10 ~1						
物品庫 (2) LSS5-4-24 LN ~1												



厚生棟 1階平面図 S=1/100

国際交流・職員会館事務室 SP-1 ~12 LSS1-4-30 LN ~4 K0-LRS11-D10 ~2	シルバー人材センター事務室 SP-1 ~12 K0-LRS11-D10 ~2	シルバー人材センター会議室 SP-1 ~20 K0-LRS11-D10 ~4
産院室 SP-19 ~6 同上用リニューアブルプレート ~6 K0-LRS11-D10 ~1		
ポーチ LRS1RP-17 LN ~8		



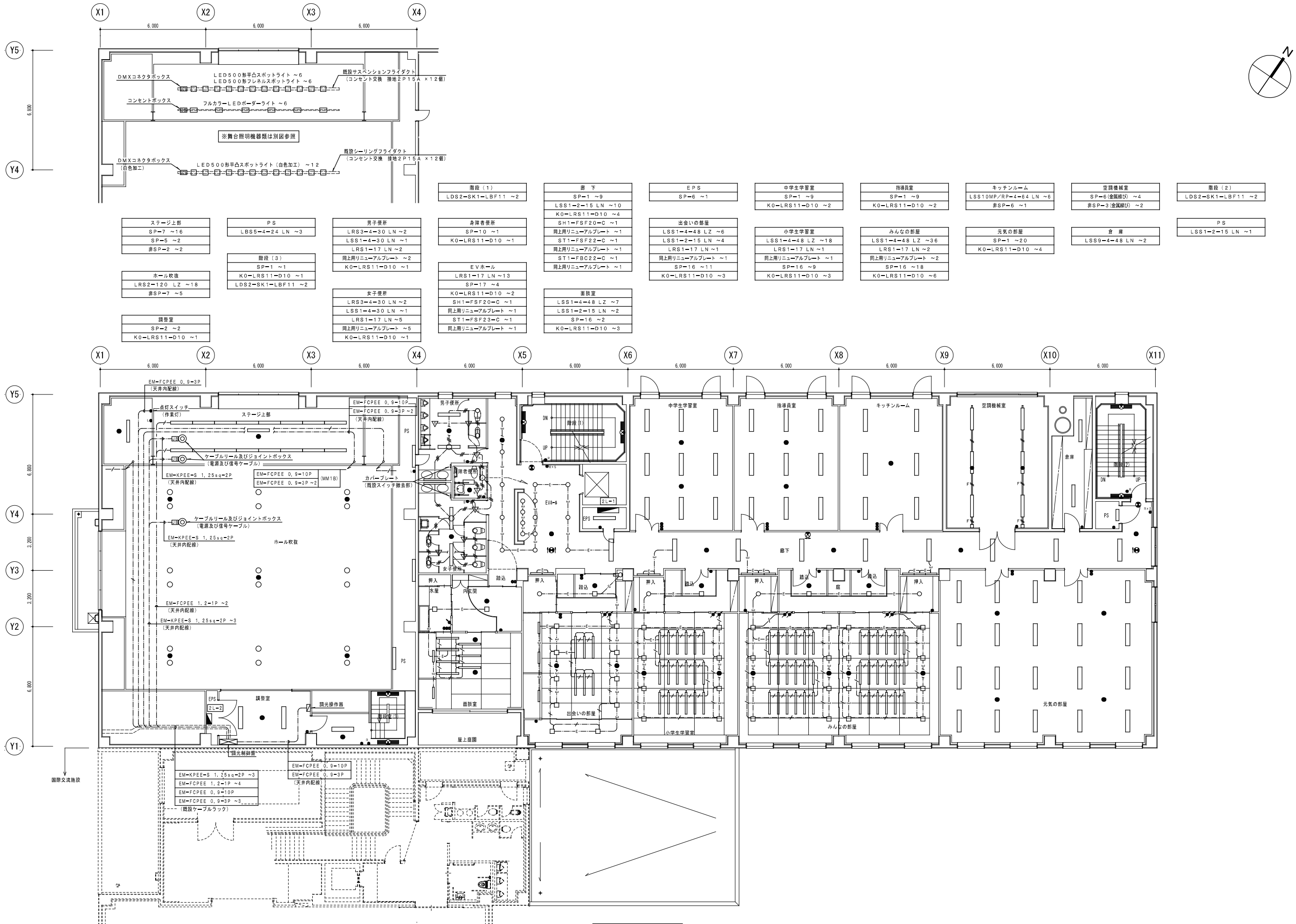
一級建築士事務所
株式会社 共伸設備設計事務所

北海道知事登録 (石) 第 3038号
一級建築士登録 第230654号
設備設計一級建築士登録 第 206号
早川 浩基

承認	担当	製図

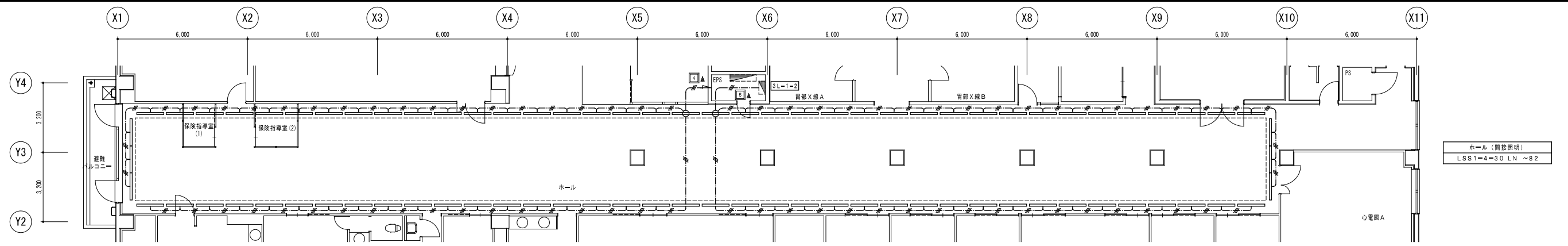
縮尺 1/100
設計年月日 R3.10

工事名 リフレサッポロ改修強電設備工事
図名 電灯設備 厚生棟 1階平面図 (改修後)



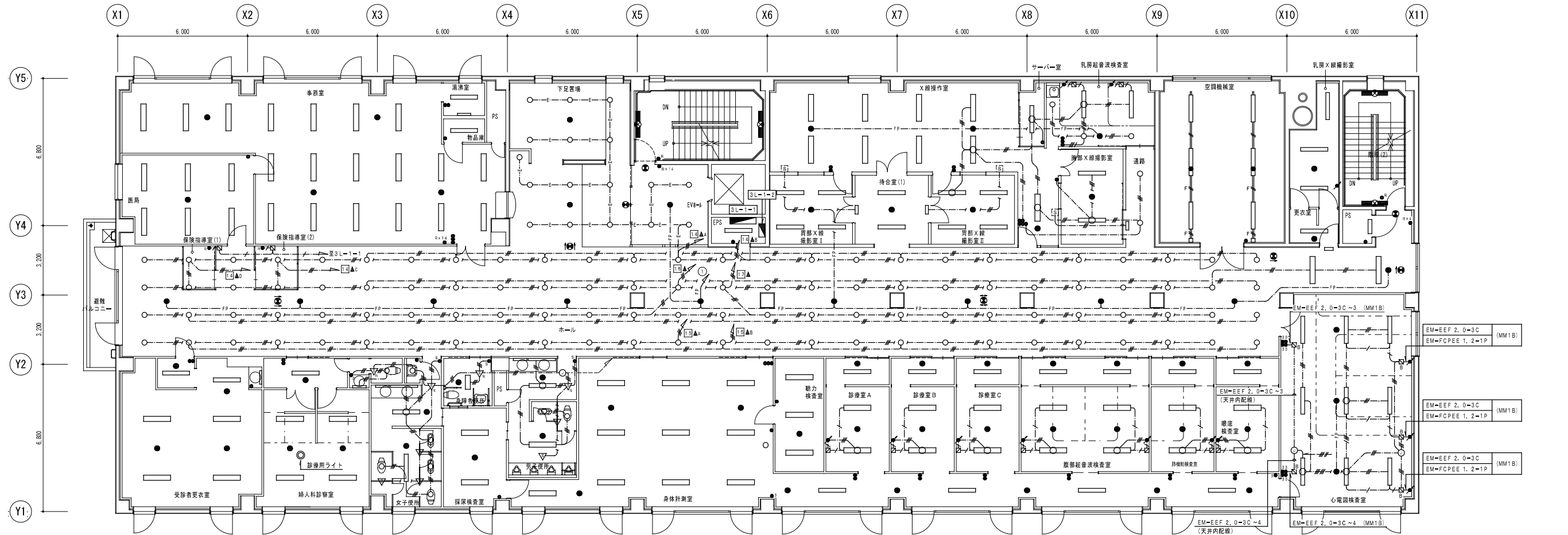
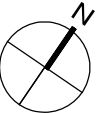
ステージ上部 SP-7 ~16 SP-5 ~2 非SP-2 ~2	PS LBS5-4-24 LN ~3	男子便所 LRS3-4-30 LN ~2 LSS1-4-30 LN ~1 LRS1-17 LN ~2 同上用リニューアルプレート ~2 K0-LRS11-D10 ~1	階段 (1) LDS2-SK1-LBF11 ~2	身障者便所 SP-10 ~1 K0-LRS11-D10 ~1	廊下 SP-1 ~9 LSS1-2-15 LN ~10 K0-LRS11-D10 ~4 SH1-FSF20-C ~1 同上用リニューアルプレート ~1 ST1-FSF22-C ~1 同上用リニューアルプレート ~1 同上用リニューアルプレート ~1 同上用リニューアルプレート ~1	EPS SP-6 ~1	中学生学習室 SP-1 ~9 K0-LRS11-D10 ~2	指導員室 SP-1 ~9 K0-LRS11-D10 ~2	キッチンルーム LSS10MP/RP-4-64 LN ~6 非SP-6 ~1	空調機械室 SP-6 (金属板付) ~4 非SP-3 (金属板付) ~2	階段 (2) LDS2-SK1-LBF11 ~2
ホール吹抜 LRS2-120 LZ ~18 非SP-7 ~5	階段 (3) SP-1 ~1 K0-LRS11-D10 ~1 LDS2-SK1-LBF11 ~2	女子便所 LRS3-4-30 LN ~2 LSS1-4-30 LN ~1 LRS1-17 LN ~5 同上用リニューアルプレート ~5 K0-LRS11-D10 ~1	EVホール LRS1-17 LN ~13 SP-17 ~4 K0-LRS11-D10 ~2 SH1-FSF20-C ~1 同上用リニューアルプレート ~1 ST1-FSF23-C ~1 同上用リニューアルプレート ~1	面談室 LSS1-4-48 LZ ~7 LSS1-2-15 LN ~2 SP-16 ~2 K0-LRS11-D10 ~3	出合いの部屋 LSS1-4-48 LZ ~6 LSS1-2-15 LN ~4 LRS1-17 LN ~1 同上用リニューアルプレート ~1 SP-16 ~11 K0-LRS11-D10 ~3	小学生学習室 LSS1-4-48 LZ ~18 LRS1-17 LN ~1 同上用リニューアルプレート ~1 SP-16 ~9 K0-LRS11-D10 ~3	みんなの部屋 LSS1-4-48 LZ ~36 LRS1-17 LN ~2 同上用リニューアルプレート ~2 SP-16 ~18 K0-LRS11-D10 ~6	元気の部屋 SP-1 ~20 K0-LRS11-D10 ~4	倉庫 LSS9-4-48 LN ~2	PS LSS1-2-15 LN ~1	

厚生棟 2階平面図 S=1/100

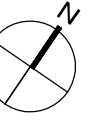


厚生棟3階ホール平面図(間接照明) S=1/100

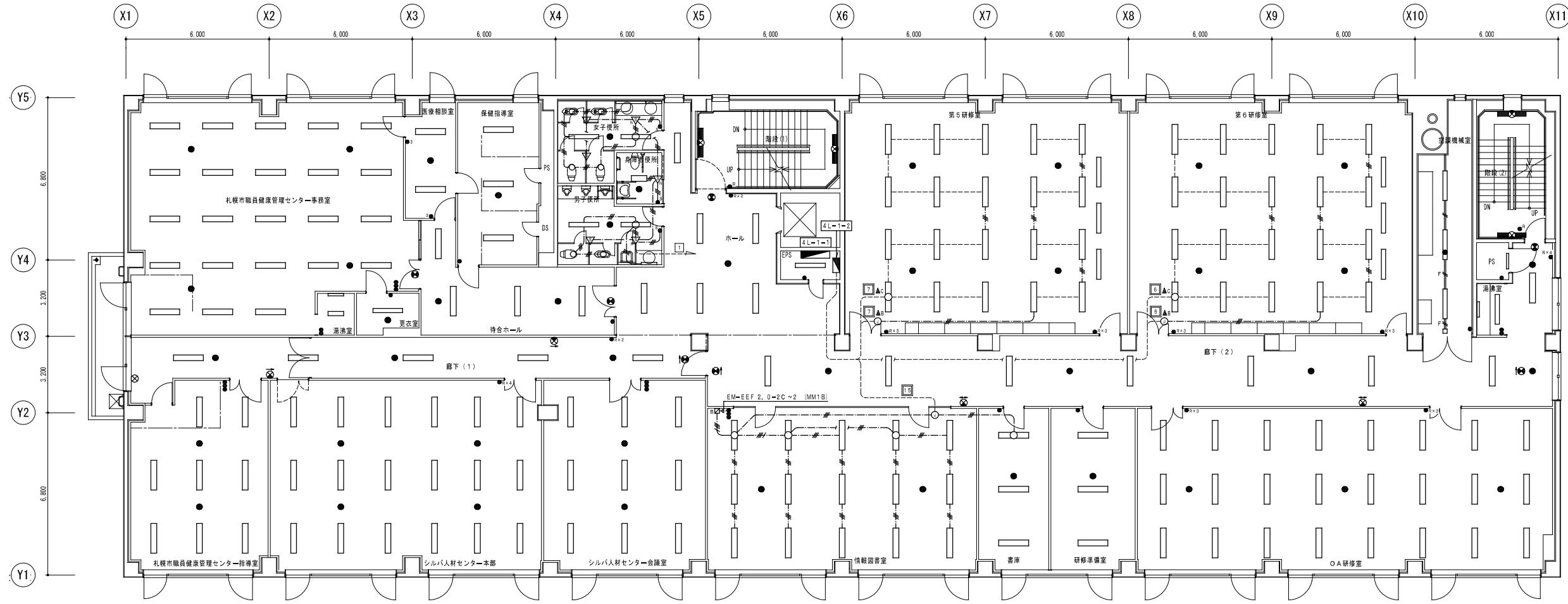
事務室 SP-1 ~19 K0-LRS11-D10 ~4	湯浴室 LRS3-4-30 LN ~1 LSS1-2-15 LN ~1	女子便所 LRS3-4-30 LN ~2 LSS1-4-30 LN ~1 LSS1-2-15 LN ~1 LRS1-17 LN ~5 同上用リニューアルプレート ~1 K0-LRS11-D10 ~2	下足置場 LRS1-17 LN ~6 K0-LRS11-D10 ~1	ホール LRS1-17 LN ~107 SP-1 ~2 K0-LRS11-D10 ~11 SH1-FSF20-C ~2 ST1-FSF23-C ~3 SP-A ~1	階段(1) LDS2-SK1-LBF11 ~2	X線操作室 SP-18 ~9 K0-LRS11-D10 ~3	待合室(1) LRS3-4-48 LN ~2 SP-A ~2 K0-LRS11-D10 ~1	サーバー室 SP-18 ~1	乳房超音波検査室 SP-3 ~2 LRS1-17 LN ~3 K0-LRS11-D10 ~1	乳房X線撮影室 SP-3 ~3 K0-LRS11-D10 ~1	階段(2) LDS2-SK1-LBF11 ~2
医局 SP-1 ~6 K0-LRS11-D10 ~1	物品庫 LRS3-4-30 LN ~1	身障者便所 SP-10 ~1 K0-LRS11-D10 ~1	男子便所 SP-1 ~1 LRS3-4-30 LN ~1 LSS1-4-30 LN ~1 LSS1-2-15 LN ~1 LRS1-17 LN ~2 同上用リニューアルプレート ~2 K0-LRS11-D10 ~2	身体計測室 SP-18 ~10 LRS3-4-48 LN ~4 LRS1-17 LN ~1 同上用リニューアルプレート ~1 K0-LRS11-D10 ~8	E Vホール LRS1-17 LN ~4 K0-LRS11-D10 ~1 SH1-FSF20-C ~1	胃腸X線I LRS3-4-48 LN ~4 K0-LRS11-D10 ~1	胃腸X線II LRS3-4-48 LN ~4 K0-LRS11-D10 ~1	胸膈X線 LRS3-4-48 LN ~2 K0-LRS11-D10 ~1	空調機械室 SP-6(金属網付) ~4 非SP-3(金属網付) ~2	更衣室 LRS3-4-30 LN ~1 K0-LRS11-D10 ~1	PS LSS1-2-15 LN ~1
保健指導室(1) LRS1-17 LN ~2	保健指導室(2) LRS1-17 LN ~2	婦人科診察室 SP-3 ~4 LRS3-4-30 LN ~1 LSS1-2-15 LN ~1 LRS1-17 LN ~1 同上用リニューアルプレート ~1 K0-LRS11-D10 ~3 SP-B ~1	家族検査室 SP-18 ~2 K0-LRS11-D10 ~1	聴力検査室 SP-18 ~3 K0-LRS11-D10 ~1	診察室A SP-3 ~2 LRS3-4-30 LN ~1 K0-LRS11-D10 ~2	診察室B SP-3 ~2 LRS3-4-30 LN ~1 K0-LRS11-D10 ~2	診察室C SP-3 ~2 LRS3-4-30 LN ~1 K0-LRS11-D10 ~2	通路 LRS1-17 LN ~2 SP-A ~1	肺機能検査室 SP-3 ~2 LRS3-4-30 LN ~1 K0-LRS11-D10 ~2	聴覚検査室 SP-3 ~2 LRS3-4-30 LN ~1 K0-LRS11-D10 ~2	心電図検査室 SP-3 ~6 SP-18 ~3 K0-LRS11-D10 ~3
受診者更衣室 LRS3-4-30 LN ~2 SP-1 ~4 LSS1-2-15 LN ~1 K0-LRS11-D10 ~4	婦人科診察室 SP-3 ~4 LRS3-4-30 LN ~1 LSS1-2-15 LN ~1 LRS1-17 LN ~1 同上用リニューアルプレート ~1 K0-LRS11-D10 ~3 SP-B ~1	受診者更衣室 LRS3-4-30 LN ~2 SP-1 ~4 LSS1-2-15 LN ~1 K0-LRS11-D10 ~4	受診者更衣室 LRS3-4-30 LN ~2 SP-1 ~4 LSS1-2-15 LN ~1 K0-LRS11-D10 ~4	受診者更衣室 LRS3-4-30 LN ~2 SP-1 ~4 LSS1-2-15 LN ~1 K0-LRS11-D10 ~4	受診者更衣室 LRS3-4-30 LN ~2 SP-1 ~4 LSS1-2-15 LN ~1 K0-LRS11-D10 ~4	受診者更衣室 LRS3-4-30 LN ~2 SP-1 ~4 LSS1-2-15 LN ~1 K0-LRS11-D10 ~4	受診者更衣室 LRS3-4-30 LN ~2 SP-1 ~4 LSS1-2-15 LN ~1 K0-LRS11-D10 ~4	受診者更衣室 LRS3-4-30 LN ~2 SP-1 ~4 LSS1-2-15 LN ~1 K0-LRS11-D10 ~4	受診者更衣室 LRS3-4-30 LN ~2 SP-1 ~4 LSS1-2-15 LN ~1 K0-LRS11-D10 ~4	受診者更衣室 LRS3-4-30 LN ~2 SP-1 ~4 LSS1-2-15 LN ~1 K0-LRS11-D10 ~4	受診者更衣室 LRS3-4-30 LN ~2 SP-1 ~4 LSS1-2-15 LN ~1 K0-LRS11-D10 ~4



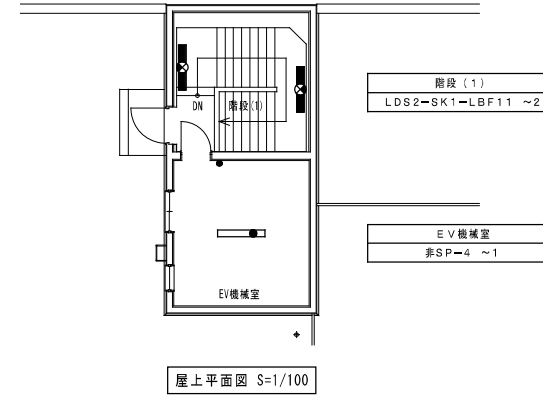
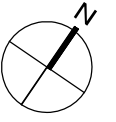
厚生棟3階平面図 S=1/100



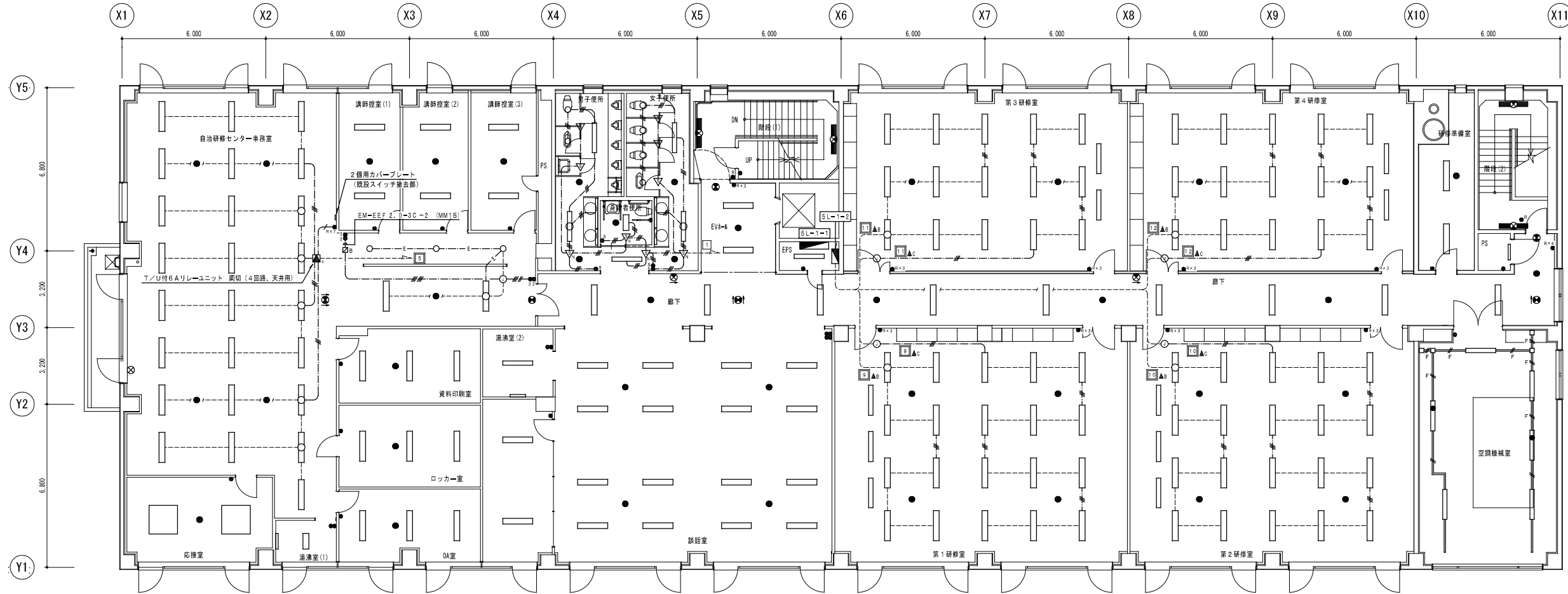
センター事務室 SP-1 ~23 K0-LRS11-D10 ~4 SH1-FBF20-C ~1 同上用リニューアルプレート ~1	湯浴室 LRS3-2-15 LN ~1 LSS1-2-15 LN ~1	医療相談室 SP-2 ~2 K0-LRS11-D10 ~1	女子便所 LRS3-4-30 LN ~2 LSS1-4-30 LN ~1 LSS1-2-15 LN ~1 LRS1-17 LN ~4 K0-LRS11-D10 ~1	ホール SP-1 ~6 K0-LRS11-D10 ~1 SH1-FBF20-C ~1	階段 (1) LDS2-SK1-LBF11 ~2	第5研修室 SP-4 ~20 LSR12-4-29 LN ~3 K0-LRS11-D10 ~4	第6研修室 SP-4 ~20 LSR12-4-29 LN ~3 K0-LRS11-D10 ~4	空調機械室 SP-6 (空調機付) ~2 非SP-3 (空調機付) ~1	階段 (2) LDS2-SK1-LBF11 ~2
センター指導室 SP-4 ~8 K0-LRS11-D10 ~2	更衣室 LRS3-4-30 LN ~1 K0-LRS11-D10 ~1	保健指導室 SP-2 ~3 K0-LRS11-D10 ~1	身障者便所 SP-10 ~1 K0-LRS11-D10 ~1	EPS SP-6 ~1	廊下 (2) SP-1 ~8 K0-LRS11-D10 ~5 SH1-FBF20-C ~1 同上用リニューアルプレート ~1 ST1-FSF22-C ~2 ST1-FBC22-C ~2 同上用リニューアルプレート ~2	書庫 SP-1 ~3 K0-LRS11-D10 ~1	研修準備室 SP-1 ~3 K0-LRS11-D10 ~1	OA研修室 SP-4 ~24 K0-LRS11-D10 ~3	PS LSS1-2-15 LN ~1
廊下 (1) SP-1 ~5 K0-LRS11-D10 ~3 ST1-FSF22-C ~1 同上用リニューアルプレート ~1 ST1-FBC22-C ~2 同上用リニューアルプレート ~2 誘導SP-A ~1 同上用リニューアルプレート ~1	シルバー人材センター本部 SP-4 ~18 K0-LRS11-D10 ~4	待合ホール SP-1 ~4 K0-LRS11-D10 ~2 SH1-FBF20-C ~1 同上用リニューアルプレート ~1	男子便所 LRS3-4-30 LN ~2 LSS1-2-15 LN ~1 LRS1-17 LN ~2 K0-LRS11-D10 ~1	シルバー人材センター会議室 SP-4 ~9 K0-LRS11-D10 ~2	情報図書室 SP-4 ~15 K0-LRS11-D10 ~2				




厚生棟 4階平面図 S=1/100






自治研修センター事務室 SP-4 ~27 LRS1-17 LN ~3 同上用リニューアルプレート ~3 K0-LRS11-D10 ~5 SH1-FBF20-C ~1 同上用リニューアルプレート ~1 ST1-FSF23-C ~1 同上用リニューアルプレート ~1 講SP-A ~1 同上用リニューアルプレート ~1	講師控室(1) SP-4 ~2 K0-LRS11-D10 ~1	講師控室(2) SP-4 ~2 K0-LRS11-D10 ~1	講師控室(3) SP-4 ~2 K0-LRS11-D10 ~1	女子便所 LRS3-4-30 LN ~3 LSS1-4-30 LN ~1 LSS1-2-15 LN ~1 LRS1-17 LN ~4 同上用リニューアルプレート ~4 K0-LRS11-D10 ~2	階段(1) LDS2-SK1-LBF11 ~2	廊下 SP-1 ~9 K0-LRS11-D10 ~5 SH1-FBF20-C ~1 同上用リニューアルプレート ~1 ST1-FSF23-C ~1 K0-LRS11-D10 ~1 ST1-FBC22-C ~2 同上用リニューアルプレート ~2	第3研修室 SP-4 ~15 LSR12-4-29 LN ~2 K0-LRS11-D10 ~2	第4研修室 SP-4 ~15 LSR12-4-29 LN ~2 K0-LRS11-D10 ~2	研修準備室 SP-1 ~2 K0-LRS11-D10 ~1	階段(2) LDS2-SK1-LBF11 ~2
応接室 SP-9 ~2 K0-LRS11-D10 ~1	湯沸室(1) SP-10 ~1 LSS1-2-15 LN ~1	ロッカー室 SP-1 ~3 K0-LRS11-D10 ~1	男子便所 LRS3-4-30 LN ~2 LSS1-4-30 LN ~1 LSS1-2-15 LN ~1 LRS1-17 LN ~2 K0-LRS11-D10 ~2	身障者便所 SP-10 ~1 K0-LRS11-D10 ~1	EVホール SP-1 ~2 K0-LRS11-D10 ~1 SH1-FSF20-C ~1	第1研修室 SP-4 ~20 LSR12-4-29 LN ~3 K0-LRS11-D10 ~4	第2研修室 SP-4 ~20 LSR12-4-29 LN ~3 K0-LRS11-D10 ~4	空調機室 SP-6(全風機用) ~4 非SP-3(全風機用) ~2	PS LSS1-2-15 LN ~1	
		O A室 SP-1 ~3 K0-LRS11-D10 ~1	湯沸室(2) LRS3-4-30 LN ~1 LSS1-2-15 LN ~1	談話室 SP-1 ~18 K0-LRS11-D10 ~4	EPS SP-6 ~1					



厚生棟5階平面図 S=1/100


 一級建築士事務所
株式会社 共伸設備設計事務所

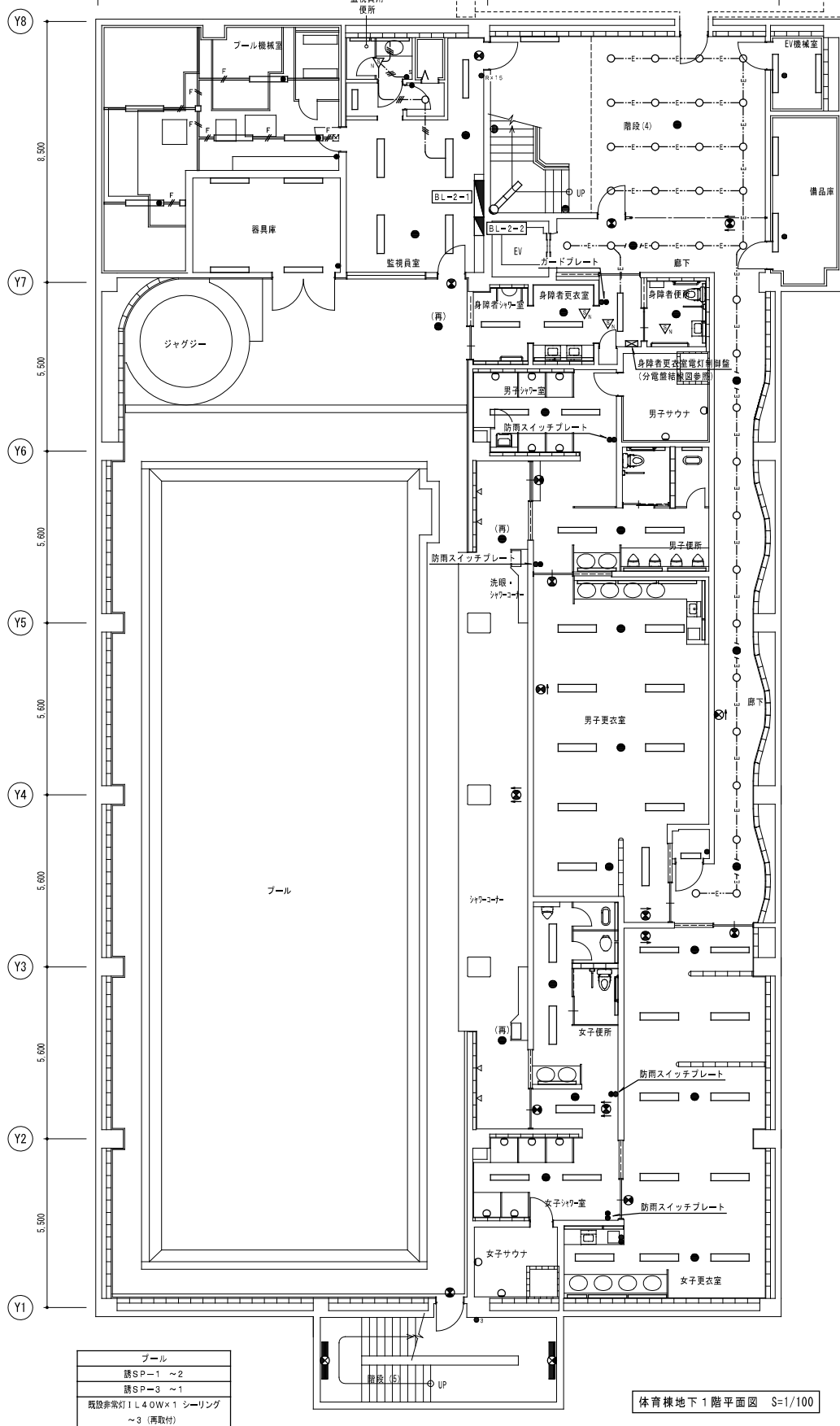
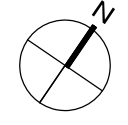
北海道知事登録 (石)第 3038号
 一級建築士登録 第230654号
 設備設計一級建築士登録 第 206号
 早川 浩基

承認	担当	製図
		

縮尺 1/100
 設計年月日 R3.10

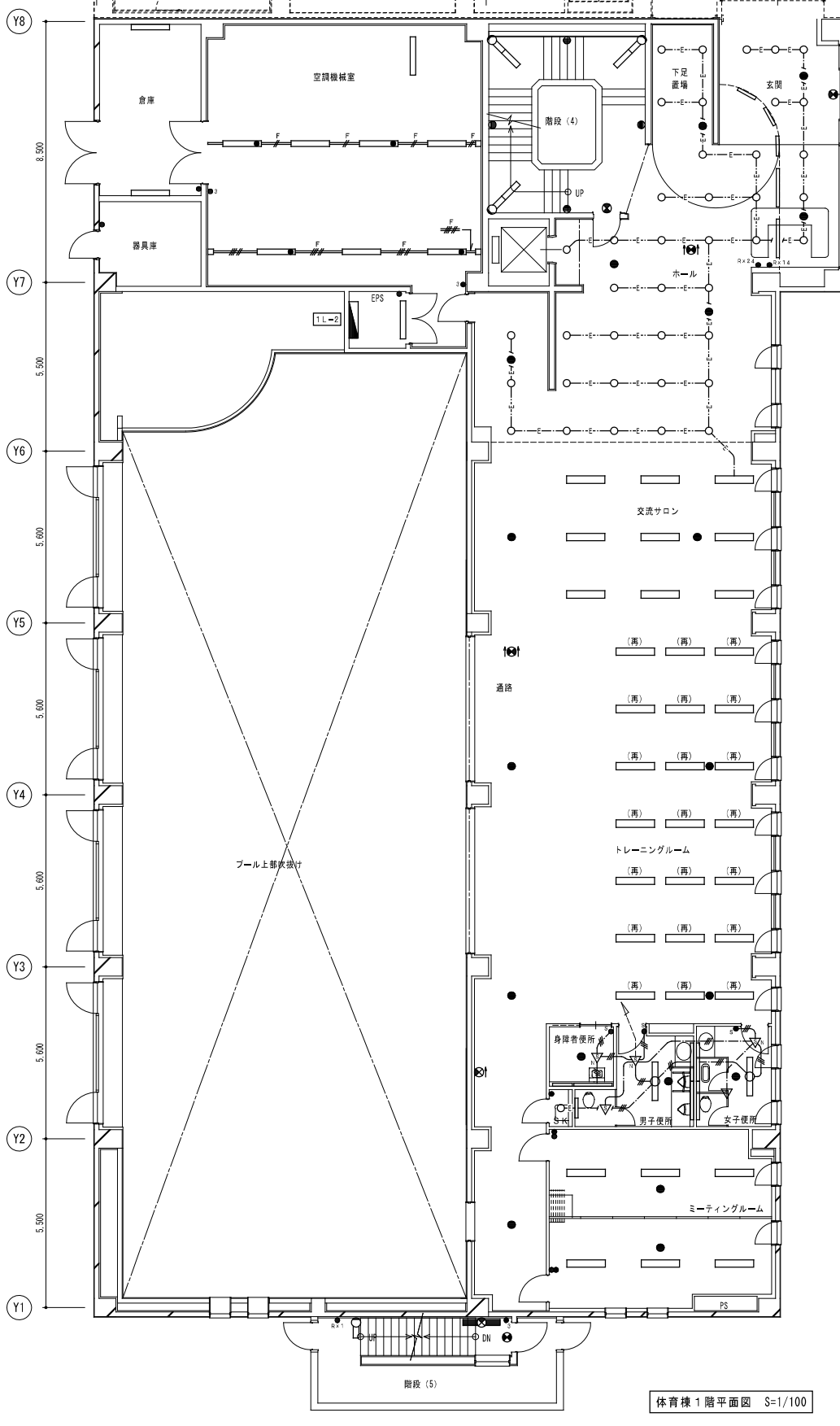
工事名 リフレサッポロ改修強電設備工事
 図面名 電灯設備 厚生棟5階・屋上面図(改修後)

プール機械室 SP-5 (全風機用) ~2 非SP-4 (全風機用) ~3	監視員用便所 LSS1-4-30 LN ~1 LSS1-2-15 LN ~1	監視員室 SP-8 ~4 LRS3MP/RP-4-46 LN ~1 LRS1MP-17 LN ~1 同上用リニューアルプレート ~1	階段 (4) LSS1-4-30 LN ~3 LRS1-17 LN ~16 KO-LRS11-D10 ~1 非SP-1 ~2	E.V.機械室 LBS5-4-24 LN ~2	特記なき配管・配線は下記による。 EM-EF 1. 6 x 1 天井内配線 EM-EF 2. 0-2C 天井内配線 EM-EF 2. 0-3C 天井内配線 レースウェイ (30 x 40)、重付 EM-1E 2. 0 x 2 (レースウェイ) EM-1E 2. 0 x 5 (レースウェイ) EM-1E 2. 0 x 2 + EM-FP 3. 5sq-2C (レースウェイ) EM-1E 2. 0 x 5 + EM-FP 3. 5sq-2C (レースウェイ) レースウェイ分岐ボックス	倉庫 LBS5-4-24 LN ~2	空調機械室 SP-5 (全風機用) ~3 SP-5 ~1 同上用リニューアルプレート (1m) ~1 非SP-4 (全風機用) ~4	階段 (4) LSS1-4-48 LN ~6 非SP-1 ~4 SH1-FBC20F-BH ~1 同上用リニューアルプレート ~1	下足置場 LRS1-17 LN ~4 同上用リニューアルプレート ~4 KO-LRS11-D10 ~1
---	--	--	--	----------------------------	---	-----------------------	--	---	--



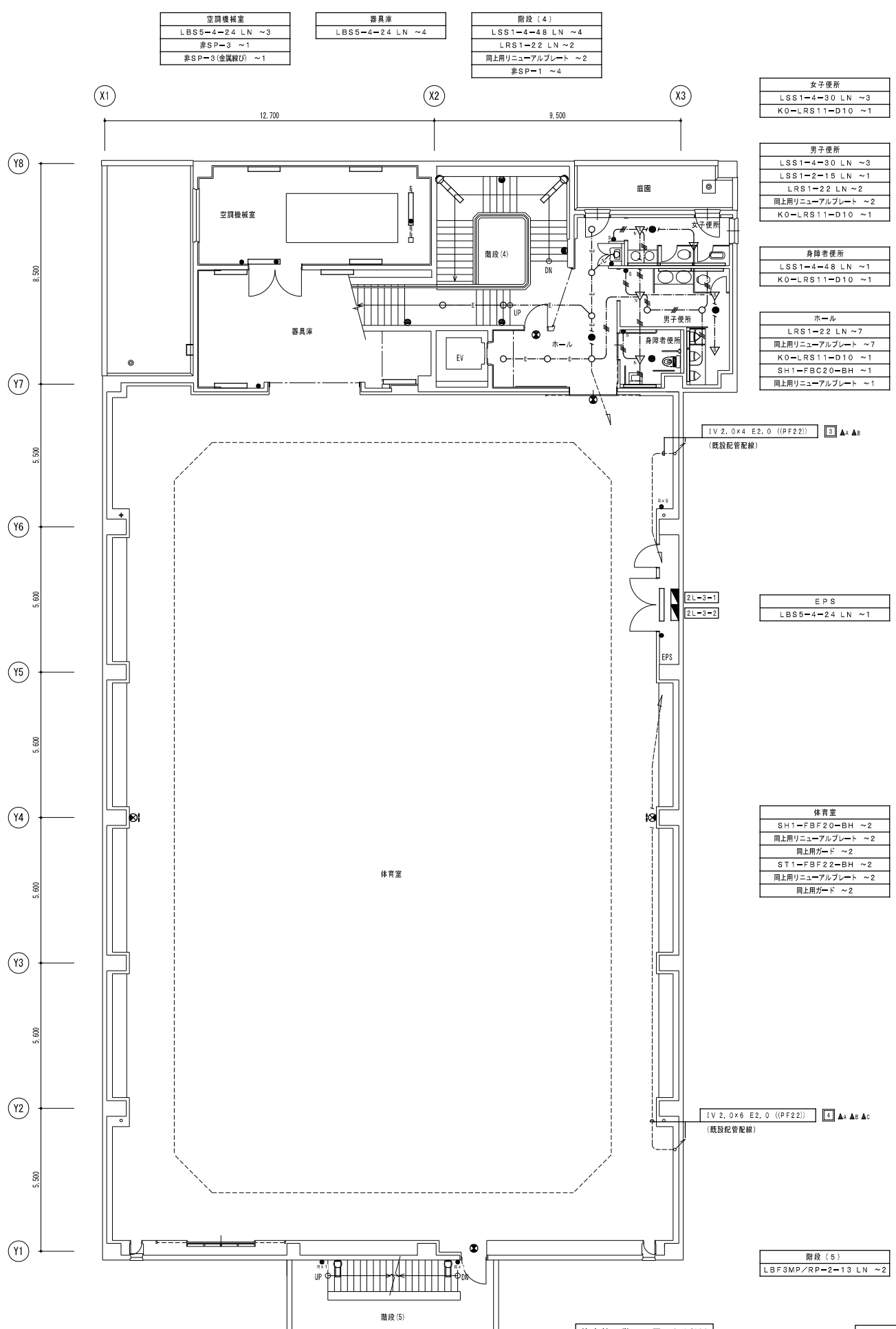
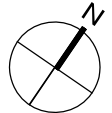
倉庫 LBS5-4-24 LN ~2	廊下 LRS1-17 LN ~18 LSS1-2-15 LN ~1 KO-LRS11-D10 ~4 SH1-FBC20F-BH ~1 同上用リニューアルプレート ~1 ST1-FSF23-BH ~1 ST1-FBC22-C ~1 同上用リニューアルプレート ~1	身障者シャワー・更衣室 LRS3MP/RP-4-46 LN ~1 LSS9MP/RP-4-30 LN ~2 LSS1MP/RP-4-30 LN ~1 LSS1MP/RP-2-14 LN ~1 非SP-5 ~1	身障者便所 LSS1MP/RP-4-30 LN ~1 LSS1MP/RP-2-14 LN ~1 非SP-6 ~1	男子シャワー室 LSS9MP/RP-4-30 LN ~2 SP-12 ~5 非SP-5 ~1	男子サウナ SP-13 ~2	男子便所 LRS3MP/RP-4-46 LN ~2 LSS1MP/RP-4-30 LN ~4 LSS1MP/RP-2-14 LN ~1 非SP-6 ~1 誘SP-2 ~1	男子更衣室 SP-8 ~10 LSS1MP/RP-4-30 LN ~4 LSS1MP/RP-2-14 LN ~1 非SP-6 ~3 誘SP-2 ~1 誘SP-4 ~2	女子便所 SP-8 ~3 LSS1MP/RP-4-30 LN ~3 LSS1MP/RP-2-14 LN ~1 非SP-6 ~2 誘SP-2 ~1 誘SP-5 ~1	女子シャワー室 LSS9MP/RP-4-30 LN ~2 SP-12 ~5 非SP-5 ~1	女子サウナ SP-13 ~2	女子更衣室 LRS3MP/RP-4-46 LN ~2 SP-8 ~9 LSS1MP/RP-4-30 LN ~3 LSS1MP/RP-2-14 LN ~2 非SP-6 ~3 誘SP-2 ~2 誘SP-4 ~1	階段 (5) LDS2-SK1-LBF11 ~2
-----------------------	---	---	---	---	-------------------	--	---	---	---	-------------------	--	-----------------------------

体育棟地下1階平面図 S=1/100

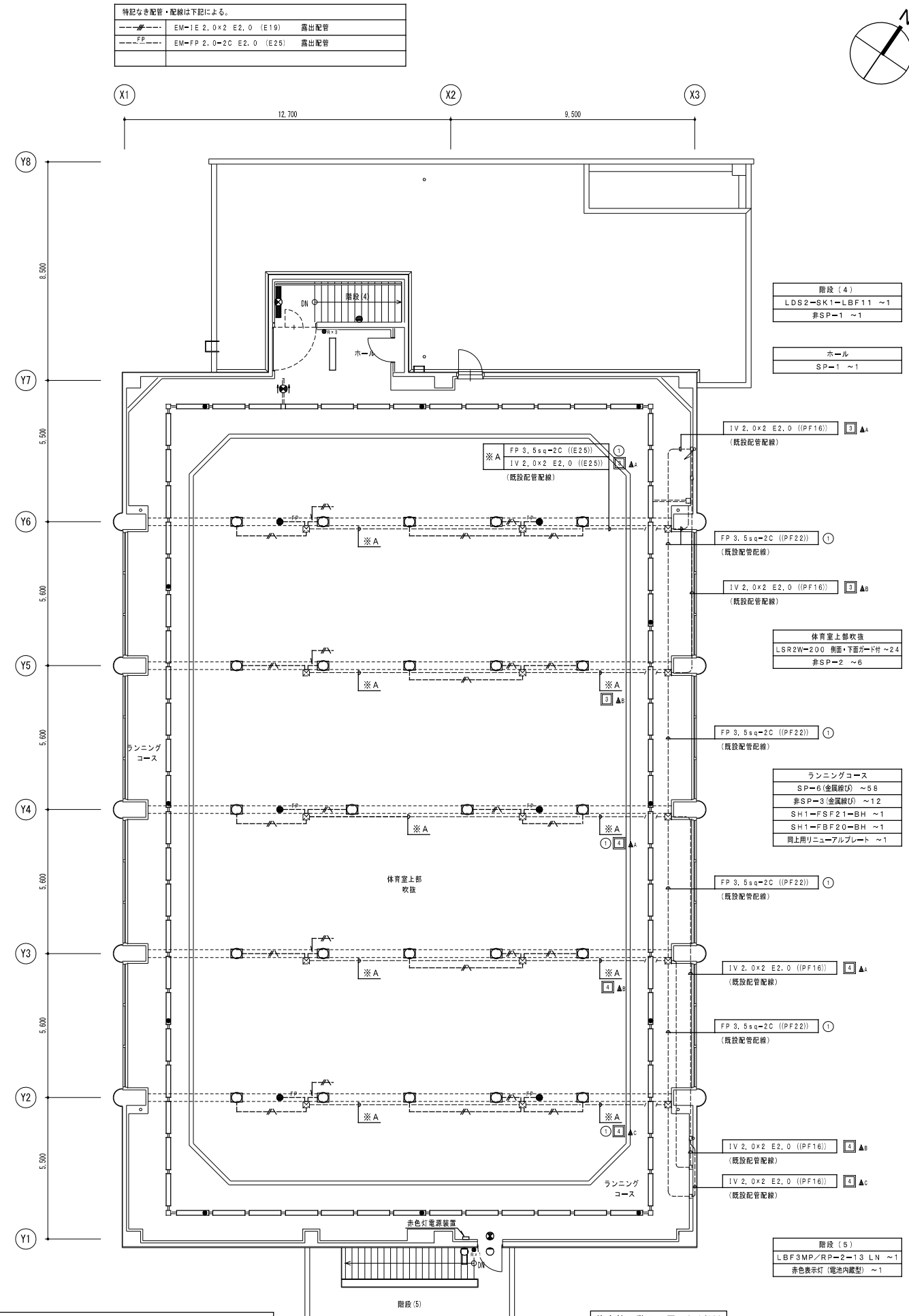


玄関 LRS1-17 LN ~8 LSS1-4-30 LN ~2 LSS1-2-15 LN ~3 KO-LRS11-D10 ~2 SH1-FBC20F-BH ~1 同上用リニューアルプレート ~1	ホール LRS1-17 LN ~28 KO-LRS11-D10 ~3 ST1-FRF23P-BH ~1	交流サロン SP-1 ~9 KO-LRS11-D10 ~1	通路 KO-LRS11-D10 ~4 ST1-FRF23P-BH ~1 同上用リニューアルプレート ~1 ST1-FBC22-BH ~1 同上用リニューアルプレート ~1	トレーニングルーム KO-LRS11-D10 ~2 既設LED埋込40形 ~2.1 (再取付)	身障者便所 LSS1-4-30 LN ~1 LSS1-2-15 LN ~1 KO-LRS11-D10 ~1	男子便所 LRS3-4-30 LN ~1 LSS1-4-30 LN ~2 LSS1-2-15 LN ~1 KO-LRS11-D10 ~1	女子便所 LRS3-4-30 LN ~1 LSS1-4-30 LN ~2 KO-LRS11-D10 ~1	SK LRS1-17 LN ~1 同上用リニューアルプレート ~1	ミーティングルーム SP-1 ~6 KO-LRS11-D10 ~2	階段 (5) LBS3MP/RP-2-13 LN ~1 LDS2-SK1-LBF11 ~1 SH1-FBF20-C ~1
--	--	-------------------------------------	--	---	--	--	---	---	---	---

体育棟1階平面図 S=1/100

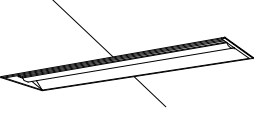
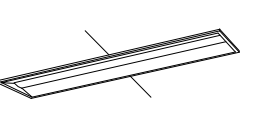
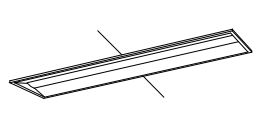
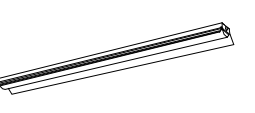
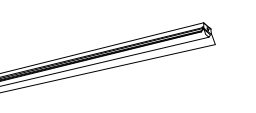
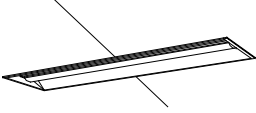
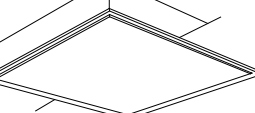
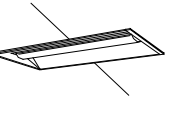
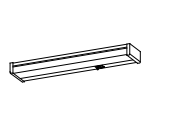
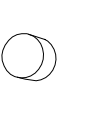

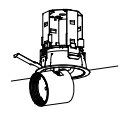
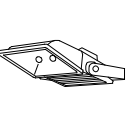
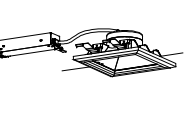

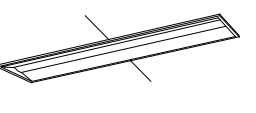
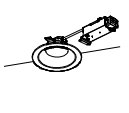

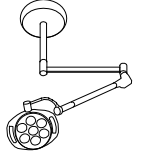
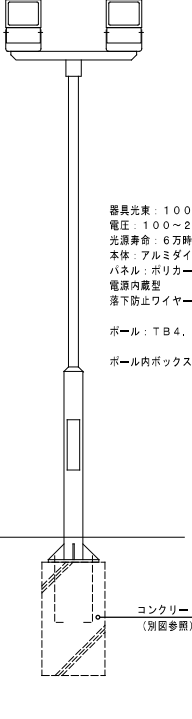
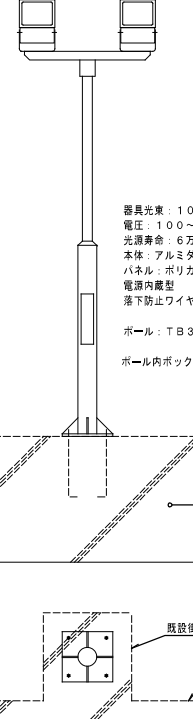
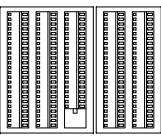


体育棟2階平面図 S=1/100



体育棟3階平面図 S=1/100

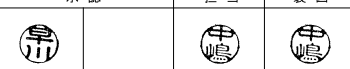
注記：体育室上部器具更新にあたり、床養生（コンクリート型枠用合板+ブルーシート）442㎡[26m×17m]と作業用足場として、ローリングタワー（5段）2基・45日間を見込むこと。（参考）
 なお、弱電工事の器具更新作業（上記日数のうち15日間）と兼用とする。

照明器具他 変図													
SP-1	LED埋込下面開放型40形 4800lm	SP-3	LED埋込下面開放型40形グレア抑制 6500lm (連続調光形)	SP-4	LED埋込下面開放型40形グレア抑制 4800lm	SP-5	LED直付型反射型40形 4800lm	SP-7	LED直付型反射型40形 6500lm (連続調光形)	SP-8	LED防湿埋込下面開放型40形 4800lm	SP-9	LEDスクエア埋込下面カバー型 13000lm
SP-2	LED埋込下面開放型40形 6500lm					SP-6	LED直付型反射型40形 3000lm						
 <p>W: 300 リニューアル対応 電圧: 100~242V 本体: 亜鉛鋼板 反射板: 銅板 (高反射白色粉体塗装) ライトバー (カバー): ポリカーボネート (乳白) 光源寿命: 40000時間</p>		 <p>W: 300 リニューアル対応 調光: 5%~100% 電圧: 100~242V 本体: 亜鉛鋼板、反射板: 銅板 (高反射白色粉体塗装) ライトバー (カバー): ポリカーボネート (乳白) 光源寿命: 40000時間</p>		 <p>W: 300 リニューアル対応 電圧: 100~242V 本体: 亜鉛鋼板、反射板: 銅板 (高反射白色粉体塗装) ライトバー (カバー): ポリカーボネート (乳白) 光源寿命: 40000時間</p>		 <p>電圧: 100~242V 本体: 銅板 (白色粉体塗装) ライトバー (カバー): ポリカーボネート (乳白) 光源寿命: 40000時間</p>		 <p>電圧: 100~242V 調光: 5%~100% 本体: 銅板 (白色粉体塗装) ライトバー (カバー): ポリカーボネート (乳白) 光源寿命: 40000時間</p>		 <p>W: 300 リニューアル対応 電圧: 100~242V 本体: 銅板 (白) ライトバー (カバー): ポリカーボネート (乳白) 光源寿命: 40000時間</p>		 <p>□1200タイプ 電圧: 100~242V 本体: 亜鉛鋼板 枠: 銅板 (ホワイテ) パネル: アクリル (乳白) 光源寿命: 40000時間</p>	
SP-10	LED埋込下面開放型20形 3000lm	SP-11	LEDキッチンライト 20形 900lm	SP-12	LEDブラケットライト LED電球 4.4W x1	SP-13	サウナ用ブラケットライト 1L40W x1	SP-14	LEDダウンスポットライト 1000lm	SP-15	LED投光器 小型 5600lm	SP-16	LED和風角型ダウンライト 900lm
 <p>W: 300 リニューアル対応 電圧: 100~242V 本体: 亜鉛鋼板 反射板: 銅板 (高反射白色粉体塗装) ライトバー (カバー): ポリカーボネート (乳白) 光源寿命: 40000時間</p>		 <p>電圧: 100V 天井直付型・壁直付型 カバー: プラスチック タッチレススイッチ付</p>		 <p>防湿・防雨型 電圧: 100V 本体: アルミダイカスト グローブ: テフロン被付ガラス (乳白)</p>		 <p>防湿型・サウナ用 電圧: 100V 本体: 陶器 (クールホワイト) カバー: テフロン被付ガラス (乳白)</p>		 <p>電圧: 100~242V、電源ユニット付 埋込穴: φ100 灯具・枠: アルミダイカスト (ホワイトつや消し仕上) 光源寿命: 40000時間</p>		 <p>防まつ (灯具本体) 電源内蔵型 電圧: 100~242V 本体: アルミダイカスト パネル: ポリカーボネート 光源寿命: 60000時間</p>		 <p>調光: 1%~100% 電圧: 100~242V、電源ユニット付 埋込穴: □150 枠: 木製 (白木) 反射板: アルミダイカスト (ホワイトつや消し仕上) 光源寿命: 40000時間</p>	
SP-17	LEDダウンライト 900lm	SP-18	LED埋込下面開放型40形グレア抑制 6500lm	SP-19	LEDダウンライトSB形 1500lm								
 <p>電圧: 100V 埋込穴: φ100 反射板・枠: 銅板 (ホワイテつや消し仕上) 光源寿命: 40000時間</p>		 <p>W: 300 リニューアル対応 電圧: 100~242V 本体: 亜鉛鋼板、反射板: 銅板 (高反射白色粉体塗装) ライトバー (カバー): ポリカーボネート (乳白) 光源寿命: 40000時間</p>		 <p>電圧: 100V 埋込穴: φ150 反射板・枠: 銅板 (ホワイテつや消し仕上) 光源寿命: 40000時間</p>									
SP-A	LED標示灯 壁直付型	SP-B	LED診療用ライト 天吊型							外SP-1	LED街路灯 (ポール: TB4.5)	外SP-2	LED街路灯 (ポール: TB3.5)
 <p>電圧: 100V 枠: プラスチック (クールホワイトつや消し仕上) 光源寿命: 40000時間</p>		 <p>最大照度: 50,000lx 電圧: 100~242V 演色評価数: Ra95 調光: 3段階調光 光源寿命: 40000時間</p>								 <p>器具光束: 10000lm以上 (x2灯) 電圧: 100~242V 光源寿命: 6万時間 本体: アルミダイカスト パネル: ポリカーボネート 電源内蔵型 落下防止ワイヤー付 ポール: TB4.5 (溶融亜鉛メッキ+指定色塗装) ポール内ボックス小型2灯用付</p>		 <p>器具光束: 10000lm以上 (x2灯) 電圧: 100~242V 光源寿命: 6万時間 本体: アルミダイカスト パネル: ポリカーボネート 電源内蔵型 落下防止ワイヤー付 ポール: TB3.5 (溶融亜鉛メッキ+指定色塗装) ポール内ボックス小型2灯用付</p>	
<p>共通事項</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 姿図は全て参考とし、機器仕様は表記相当以上とする。 2. 天井埋込及び直付器具等について、1.5kgを超えるものは落下防止措置を施すこと。 								<p>リモコンセレクトスイッチ 116回路 (外灯分電盤に取付)</p>  <p>伝送方式: フル2線式 回路数: 116L (68L+48L) パターン・グループ設定スイッチ付 光アドレス設定式 露出型</p>					







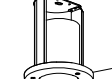
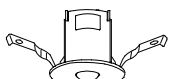








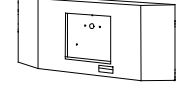
一級建築士事務所
株式会社 共伸設備設計事務所

北海道知事登録 (石)第 3038号
一級建築士登録 第230654号
設備設計一級建築士登録 第 206号
早川 浩基



縮尺 -
設計年月日 R3.10

工事名 リフレサポロ改修強電設備工事
図面名 照明器具変図-1

照明器具他 姿図													
非SP-1	LED非常灯（電池内蔵）コンパクトブラケット 900lm	非SP-2	LED非常灯（電源別置）直付高天井用 100形相当	非SP-3	LED非常灯（電源別置）反射笠付型 3000lm	非SP-4	LED非常灯（電源別置）反射笠付型 4800lm	非SP-5	LED非常灯（電源別置）防湿直付 低・中天井用（～6m）	非SP-6	LED非常灯（電源別置）防湿埋込 低・中天井用（～6m）	非SP-7	LED非常灯（電源別置）埋込高天井用 100形相当
	 常時LED点灯 非常時本体起込LED点灯 電圧：100V 非常灯認定番号：L A L E-027 本体：鉄板（白色塗装） パネル：ガラス 光寿命：4000時間、自己点検機能付	 直付型高照度タイプ LED内蔵、非常時：非常用LED点灯/常時消灯 電圧：AC/DC100V 非常灯認定番号：L C L E-002 レンズ：ガラス カバー：アルミダイキャスト（ホワイトつや消し仕上げ）、本体：アルミ板	 常時：ライトバー点灯、非常時：非常時本体起込LED点灯 電圧：常時100～242V対応、非常時AC/DC100V 半導体光源別置型・LED板・中天井用、光寿命4000時間 非常灯認定番号：L C L E-014 非常用LEDレンズ：ガラス、常用ライトバー：ポリカーボネート 本体：鉄板（白色粉体塗装）	 防湿防雨型 LED内蔵、非常時：非常用LED点灯/常時消灯 電圧：AC/DC100V 非常灯認定番号：L C L E-001 レンズ：ガラス、パネル：ガラス（透明） カバー：アルミ（ホワイトつや消し仕上げ）	 防湿防雨型 LED内蔵、非常時：非常用LED点灯/常時消灯 電圧：AC/DC100V 非常灯認定番号：L C L E-001 レンズ：ガラス、パネル：ガラス（透明） 枠：アルミ（ホワイトつや消し仕上げ）	 埋込型高照度タイプ LED内蔵、非常時：非常用LED点灯/常時消灯 電圧：AC/DC100V 非常灯認定番号：L C L E-002 レンズ：ガラス カバー：アルミダイキャスト（ホワイトつや消し仕上げ）、本体：アルミ板							
誘SP-1	LED避難口誘導灯 壁直付（防湿・防雨）型 B級・BH形	誘SP-2	LED避難口誘導灯 天井直付（防湿・防雨）型 C級	誘SP-3	LED通路誘導灯 天井直付（防湿・防雨）両面型 B級・BH型	誘SP-4	LED通路誘導灯 天井直付（防湿・防雨）片面型 C級	誘SP-5	LED通路誘導灯 天井直付（防湿・防雨）両面型 C級	誘SP-A	LED防災設備表示灯（電池内蔵）天井直付型		
	 LED誘導灯コンパクトスクエア B級・BL形 片面型 壁直付型（防雨型） 一般型（20分間）、ニッケル水素蓄電池 リモコン自己点検機能付 型式認定番号：1A M 111-3479	 LED誘導灯コンパクトスクエア C級 片面型 天井直付型（防雨型） 一般型（20分間）、ニッケル水素蓄電池 リモコン自己点検機能付 型式認定番号：1A S 111-3400	 LED誘導灯コンパクトスクエア B級・BL形 両面型 天井直付型（防雨型） 一般型（20分間）、ニッケル水素蓄電池 リモコン自己点検機能付 型式認定番号：1A M 221-3403	 LED誘導灯コンパクトスクエア C級 片面型 天井直付型（防雨型） 一般型（20分間）、ニッケル水素蓄電池 リモコン自己点検機能付 型式認定番号：1A S 111-3400	 LED誘導灯コンパクトスクエア C級 両面型 天井直付型（防雨型） 一般型（20分間）、ニッケル水素蓄電池 リモコン自己点検機能付 型式認定番号：1A S 221-3401	 一般型（20分間）、ニッケル水素蓄電池 リモコン自己点検機能付							
誘導灯リニューアルプレート 壁直付用	誘導灯リニューアルプレート 天井直付用	誘導灯リニューアルプレート 壁埋込用											
 本体：亜鉛鋼板 カバー：鉄板（クールホワイト）	 本体：亜鉛鋼板 カバー：鉄板（クールホワイト）	 本体：亜鉛鋼板 カバー：鉄板（クールホワイト）											
										共通事項 1. 姿図は全て参考とし、機器仕様は表記相当以上とする。 2. 天井埋込及び直付器具等について、1.5kgを超えるものは落下防止措置を施すこと。			



一級建築士事務所
株式会社 共伸設備設計事務所

北海道知事登録 (石)第 3038号
一級建築士登録 第230654号
設備設計一級建築士登録 第 206号
早川 浩 基

承認 担当 製図

縮尺 -
設計年月日 R3.10

工事名 リフレサッポロ改修強電設備工事
図面名 照明器具姿図-2

照明負荷明細表

記号	名称	既設仕様				工事内容				改修仕様							備考			
		仕様	数量	負荷容量 (VA)	回路数		撤去	取除	更新	新設	仕様	数量	負荷容量 (VA)	回路数		DMX		PWM	LAN	
					誘光回路	普通回路								16A	16AR	IN				OUT
<演出照明負荷>																				
B	ボーダーライト	1L100W ×9灯 3脚配線 L=1.8m	5列	4,500	3			○		フルカラーLED (RGBW・信号ケーブル付)	6台									
	同上用コンセントボックス							○		接地2P15A抜きコンセント×2ヶ 直1回路 DMX信号出力コネクタ×1系統	1台	720	1			1				
	同上用ジョイントボックス	電源用	1台					○		電源用	1台									
	同上用ケーブルリール	5.5sq-7C用 丸型 8m用	1台					○		5.5sq-3C用 丸型 8m用	1台									
	同上用ボーダーケーブル	5.5sq-7C用 丸型 13m	1本					○		DMX1系統 丸型 8m用 (JB付) 5.5sq-3C用 丸型 13m DMX1系統 丸型 13m	1台 1本 1本									
SUS	サスペンションフライングダクト	C型20Aコンセント×12ヶ 3回路 L=9.18m	1列	6,000	3			○	○	接地2P15A抜きコンセント×12ヶ 直3回路 L=9.18m	1列	4,800	3						コンセント交換	
	DMXコネクタボックス							○		DMX信号出力コネクタ×1系統	1台					1				
	同上用ジョイントボックス	電源用	1台					○		電源用	1台									
	同上用ケーブルリール	5.5sq-7C用 丸型 8m用	1台					○		5.5sq-7C用 丸型 8m用	1台									
	同上用ボーダーケーブル	5.5sq-7C用 丸型 13m	1本					○		DMX1系統 丸型 8m用 (JB付) 5.5sq-7C用 丸型 13m DMX1系統 丸型 13m	1台 1本 1本									
	同上用スポットライト	500Wハロゲン平凸スポットライト (ハンガー付) 500Wハロゲンフレネルスポットライト (ハンガー付)	6台 6台					○ ○		LED500形平凸スポットライト (ハンガー・信号ケーブル付) LED500形フレネルスポットライト (ハンガー・信号ケーブル付)	6台 6台									
CL	シーリングフライングダクト	C型20Aコンセント×12ヶ 3回路 L=7.38m	1列	6,000	3			○	○	接地2P15A抜きコンセント×12ヶ 直3回路 L=7.38m	1列	4,800	3						コンセント交換/白色	
	DMXコネクタボックス							○		DMX信号出力コネクタ×1系統	1台					1			白色	
	同上用ジョイントボックス	電源用	1台					○		電源用	1台									
	同上用ケーブルリール	5.5sq-7C用 丸型 8m用	1台					○		5.5sq-7C用 丸型 8m用	1台									
	同上用ボーダーケーブル	5.5sq-7C用 丸型 13m	1本					○		DMX1系統 丸型 8m用 (JB付) 5.5sq-7C用 丸型 13m DMX1系統 丸型 13m	1台 1本 1本									
	同上用スポットライト	500Wハロゲン平凸スポットライト (ハンガー付)	12台					○		LED500形平凸スポットライト (ハンガー・信号ケーブル付)	12台									白色
小 計				16,500	9					小 計				10,320	7	3				
<一般照明負荷>																				
	高天井ダウンライト	200V高天井ダウンライト×18台相当	1式	7,200	9			○		LED2000形 5000K ×18台相当	1式	2,700	9						ON/OFF制御	
	低天井ダウンライト	100V低天井ダウンライト×16台相当	1式	1,600	1			○		LED100形 2700K ×16台相当	1式	160	1					2		
	舞台ベース照明	200V蛍光灯×18台相当	1式	900	2			○		LEDベースライト 40形 5000K ×16台相当	1式	560	2					2		
小 計				9,700	3	9				小 計				3,420	12			4		
合 計				26,200	12	9				合 計				13,740	19	3		4		



調光装置明細表

記号	名称	既設仕様				工事内容				改修仕様										
		仕様	数量	負荷容量 (VA)	回路数		撤去	既設	更新	新設	仕様	数量	負荷容量 (VA)	回路数		DMX		PWM	LAN	備考
					調光回路	電源回路								直16A	直16AR	IN	OJT			
1	調光制御盤	壁据付型	1面					○		壁据付型	1面									
		入力電源 AC 1φ3W 210V/105V 50Hz 30kVA								入力電源 AC 1φ3W 210V/105V 50Hz 15kVA										
		入力主幹 MCCB 3P 22.5AF/150AT (AL付)								入力主幹 MCCB 3P 100AF/75AT (AL付)										
		調光ユニットIL100V20A (MCCB1P50AF/30AT+N-SW付)	× 9台	16,500	9					直回路 RMCCB2P30AF/20AT (電源管理回路)	× 10台	11,040	10							
		調光ユニットIL100V16A (MCCB1P50AF/20AT+N-SW付)	× 1台	1,600	1					直回路 RMCCB2P30AF/20AT	× 9台	2,700	9							高天井ダウンライト用
		調光ユニットPD200V16A (RMCCB2P30AF/20AT付:Zカット付)	× 2台	900	2					調光制御電源ブロック	× 1式									
		直回路ユニットLT200V16A (RMCCB2P30AF/20AT)	× 9台	7,200	9					調光制御CPU	× 1式									
		調光制御電源ブロック	× 1式							DMX信号分配器 (8分配)	× 1式					3				
		調光制御CPU	× 1式							伝送信号分配器 (4分配)	× 1式									
		壁内自動調光制御部	× 1式							客席照明用LED調光信号1/Fユニット (4系統)	× 1式									4
										電源管理制御部 (10回路)	× 1式									
		合計		26,200	12	9				合計		13,740	19		3					4
2	調光操作器	音響調整卓内組込	1面					○		露出型	1面									
		操作主幹スイッチ	× 1組							チャンネルレベル操作部 (最大制御チャンネル数: 8チャンネル×4ページ=32チャンネル)	× 1式									
		調光操作フェーダ (MF×1, SF×12: S/M切替付)	× 1式							シーン操作部 (最大記憶シーン数: 8シーン×4ページ=32シーン)	× 1式									
		ON/OFFスイッチ	× 9ヶ							ON/OFFスイッチ	× 9ヶ									高天井ダウンライト用
										作業灯操作部 (舞台1系統)	× 1式									
3	調光操作部 (映像音響設備1Fサブ操作卓組込)							○		サブ操作卓組込	1面									
										チャンネルレベル操作部 (最大制御チャンネル数: 8チャンネル×4ページ=32チャンネル)	× 1式									
										シーン操作部 (最大記憶シーン数: 8シーン×4ページ=32シーン)	× 1式									
										ON/OFFスイッチ	× 9ヶ									高天井ダウンライト用
										作業灯操作部 (舞台1系統)	× 1式									
4	調光操作部用コネクタボックス							○		露出型	1個									1F移動用
										伝送信号コネクタ	× 1ヶ									
										制御信号コネクタ	× 1ヶ									
										中継ケーブル	× 1式									
5	作業灯スイッチ							○		露出型	1台									
										点滅スイッチ (舞台1系統)	× 1組									
6	低天井ダウンライトスイッチ							○		露出型	1台									
										点滅スイッチ (低天井ダウンライト系統)	× 1組									
7	調光操作盤	埋込型	1台					○												
		操作主幹スイッチ	× 1組																	
		調光操作フェーダ (MF×1, SF×12: S/M切替付)	× 1式																	
		ON/OFFスイッチ	× 9ヶ																	



一級建築士事務所
株式会社 共伸設備設計事務所

北海道知事登録 (石)第 3038号
一級建築士登録 第230654号
設備設計一級建築士登録 第 206号
早川 浩 基

承認 担当 製図

縮尺 -
設計年月日 R3.10

工事名 リフレサッポロ改修強電設備工事
図面名 電灯設備 舞台照明-2 (改修後)

照明器具姿図			調光装置外観図								
B	ポーターライト	CB	コンセントボックス	SUS	サスペンションフライダクト	1	調光制御盤	自立型	2	調光操作器	露出壁掛型
フルカラーLED (RGBW・信号ケーブル付)		接地2P15A抜止コンセント×2ヶ DMX信号出力コネクタ×1系統		接地2P15A抜止コンセント×12ヶ ※フライダクト：既設再使用 (L=9.18m)							
CL	シーリングフライダクト	DCB	DMXコネクタボックス	JB	ジョイントボックス	3	調光操作部 (映像音響設備1Fサブ操作卓に組込)		4	調光操作部用コネクタボックス	
シーリング交換 (L=7.38m) ※フライダクト：既設再使用 接地2P15A抜止コンセント×12ヶ		DMX信号出力コネクタ×1系統		電源用							
CR1	ケーブルリール	CR2	ケーブルリール	CR3	ケーブルリール	5	点灯スイッチ				
5.5sq-3C用 丸型 8m用		5.5sq-7C用 丸型 8m用		DMX1系統 丸型 8m用 (JB付)							
SP	スポットライト	SP	スポットライト								
※ハンガー・落下防止ワイヤー付 LED500形平凸スポットライト (信号ケーブル付)		※ハンガー・落下防止ワイヤー付 LED500形フレネルスポットライト (信号ケーブル付)									

※形状及び寸法等は参考とする

システム系統図

調光操作器 (2F調整室)

チャンネルレベル操作部 (最大制御チャンネル数: 8チャンネル×4ページ=32チャンネル)	x	1式
シーン操作部 (最大記憶シーン数: 8シーン×4ページ=32シーン)	x	1式
ON/OFFスイッチ	x	9個
作業灯操作部 (舞台1系統)	x	1式

調光操作部 (映像音響設備1Fサブ操作卓に組込)

チャンネルレベル操作部 (最大制御チャンネル数: 8チャンネル×4ページ=32チャンネル)	x	1式
シーン操作部 (最大記憶シーン数: 8シーン×4ページ=32シーン)	x	1式
ON/OFFスイッチ	x	9個
作業灯操作部 (舞台1系統)	x	1式

作業灯スイッチ

点滅スイッチ (舞台1系統)	x	1個
----------------	---	----

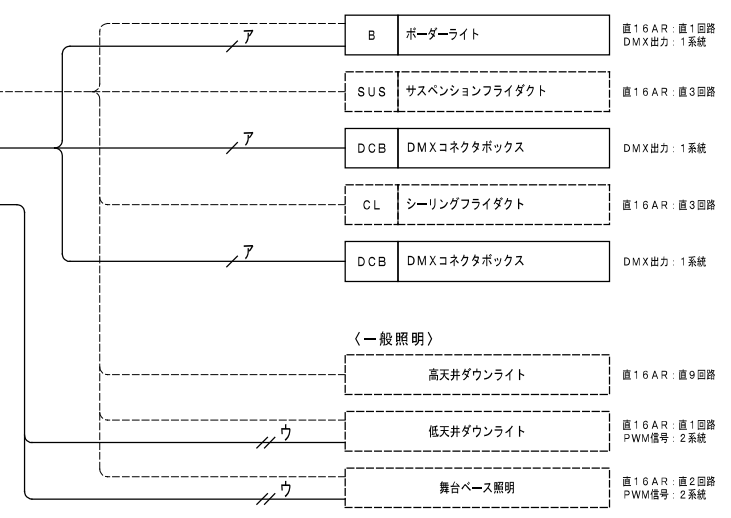
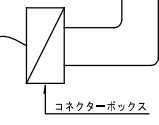
低天井ダウンライトスイッチ

点滅スイッチ (一般照明系統)	x	1個
-----------------	---	----

入力電源 1φ3W AC210V/105V 50Hz 15kVA

調光制御盤 (2F調整室)

入力主幹 MCCB 3P 100AF/75AT (AL付)		
直回路 RMCCB2P30AF/20AT (電源管理回路)	x	10台
直回路 RMCCB2P30AF/20AT	x	9台
調光操作電源ブロック	x	1式
調光制御CPU	x	1式
DMX信号分配器 (8分配)	x	1式
伝送信号分配器 (4分配)	x	1式
客席照明用LED調光信号I/Fユニット (4系統)	x	1式
電源管理制御部 (10回路)	x	1式



■ 配線凡例

- 既設電源線再使用
- 既設信号線再使用
- / — EM-KPEE-S 1.25sq-2P
- / — EM-FCPEE 0.9-3P
- // — EM-FCPEE 0.9-1P x2
- / — EM-FCPEE 0.9-10P



株式会社 一級建築士事務所 共伸設備設計事務所

北海道知事登録 (石)第 3038号
一級建築士登録 第230654号
設備設計一級建築士登録 第 206号
早川 浩基

承認	担当	製図

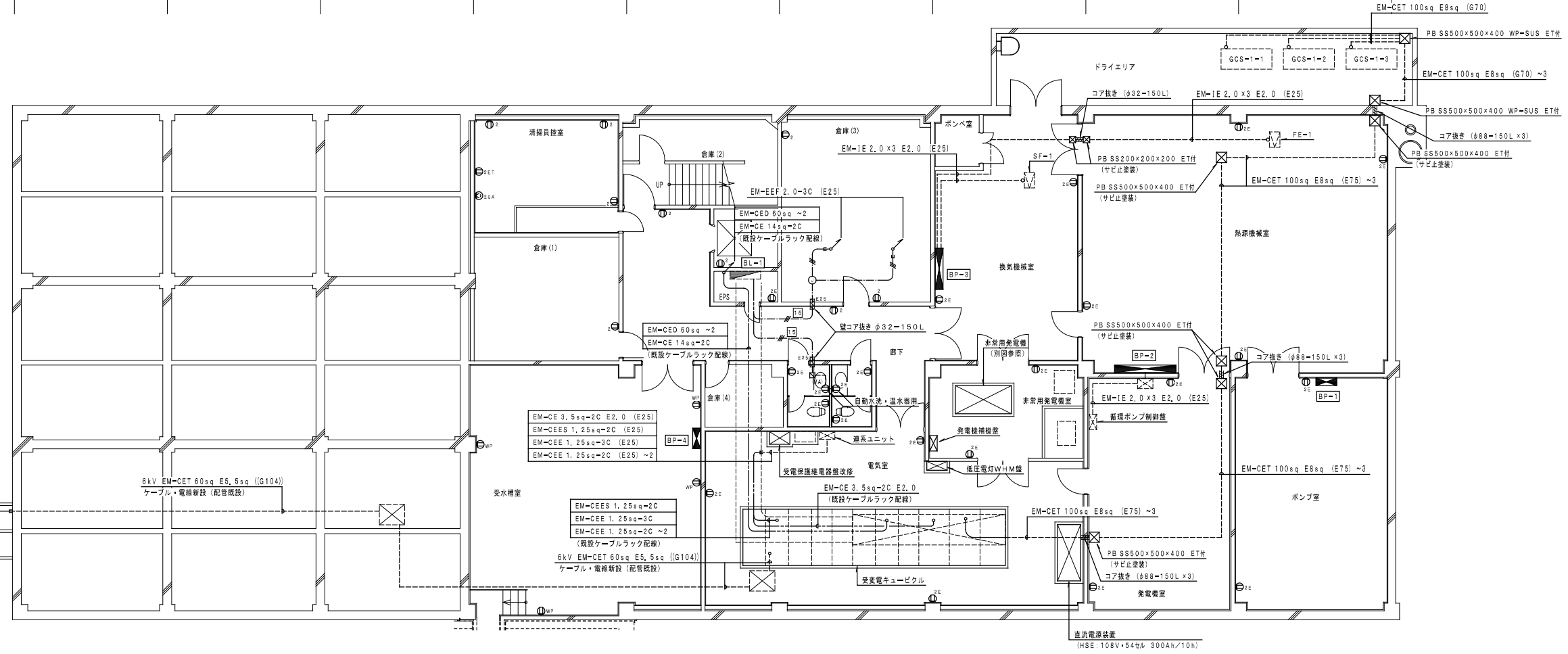
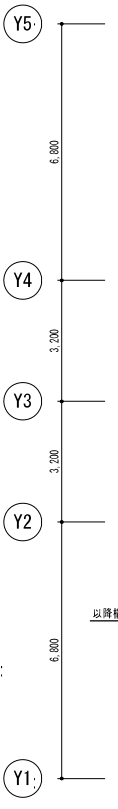
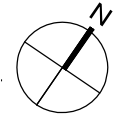
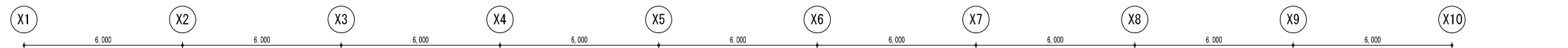
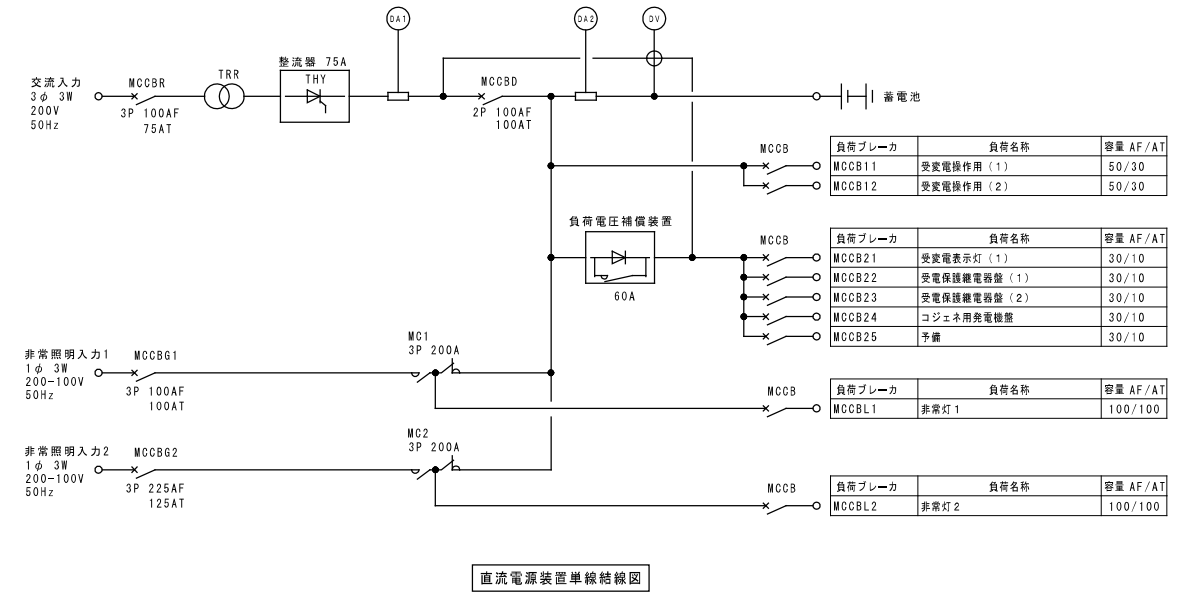
縮尺 -
設計年月日 R3.10

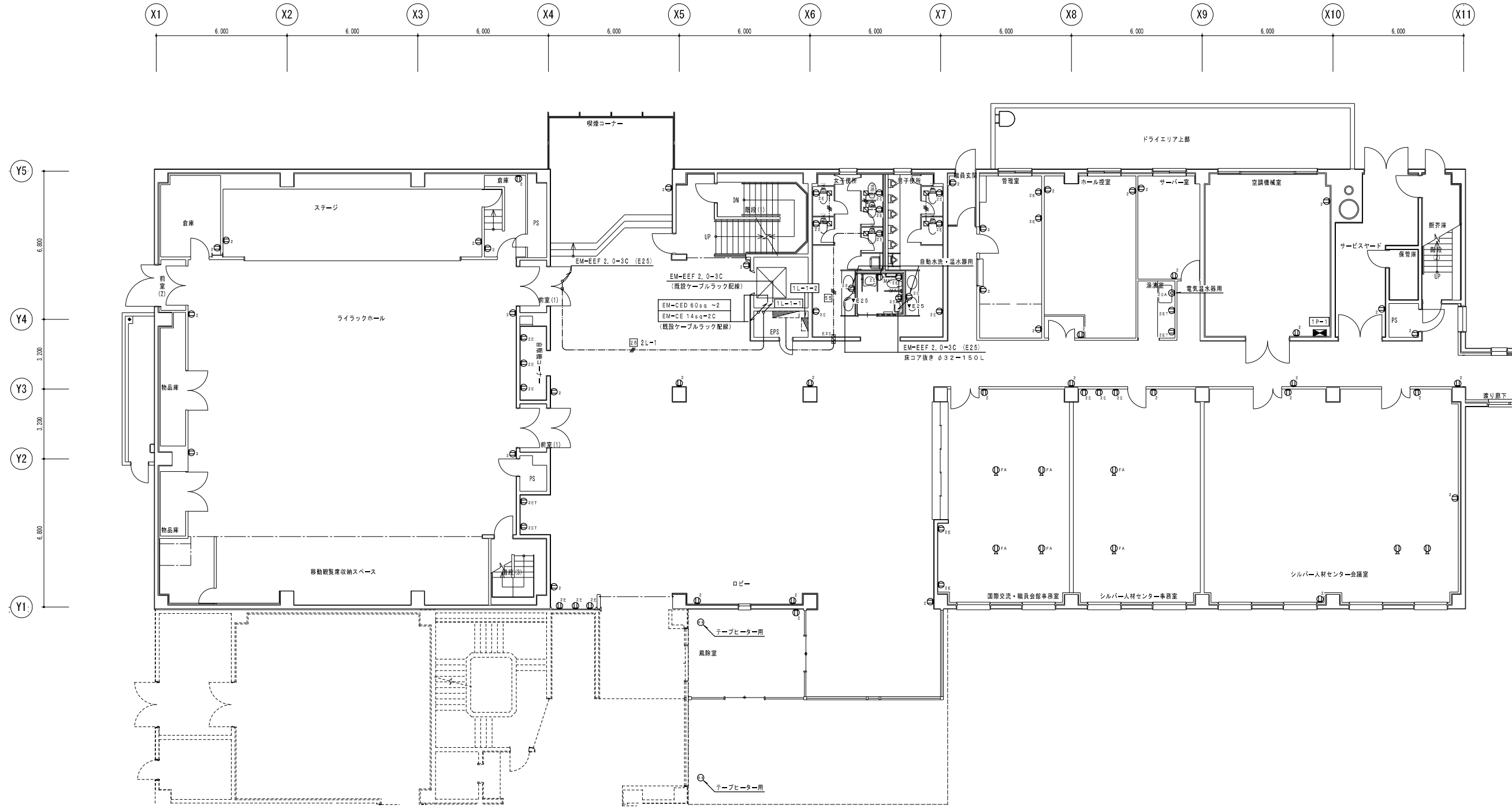
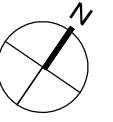
工事名 リフレサッポロ改修強電設備工事
図面名 電灯設備 舞台照明-4 (改修後)

図番 E-20

凡	例	
①	動力制御盤 (動力盤結線図参照)	
②	埋込コンセント 2P15A×2 金属プレート	特記なき配管・配線は下記による。 EM-EEF 2.0-3C 天井内配線
③	埋込コンセント 2P15A 接地極付 ×1 金属プレート	
④	埋込コンセント 2P15A 接地極付 ×2 金属プレート	EM-EEF 2.0-3C (MM1A)
⑤	埋込コンセント 2P15A×2 +ET 金属プレート	
⑥	埋込コンセント 接地2P15A ×1 金属プレート	機械接続 (KPF)
⑦	埋込コンセント 接地2P15A 接地極付 ×1 金属プレート	
⑧	埋込コンセント 接地2P15A 接地極付 ×2 金属プレート	注記 1. 実線の機器等と記載の配管配線は全て新設とする。 2. メタルモール施工部のコンセント等についてはメタルモールドスイッチボックスを取り付けること。 3. 既設コンセントで撤去のみで新設しないものはカバープレートを取り付けること。
⑨	埋込コンセント 接地2P15A 接地極付 ×1 金属プレート	
⑩	埋込コンセント 接地2P15A 接地極付 ×2 金属プレート	
⑪	フロアコンセント 2P15A×2	
⑫	フロアコンセント 2P15A 接地極付 ×1	
⑬	インナーコンセント 2P15A 接地極付 ×2 (フリーアクセスフロア用)	
⑭	医用接地端子 金属プレート	
⑮	引掛埋込コンセント 2P1E20A ×1 プラグ付 金属プレート	
⑯	引掛埋込コンセント 3P1E20A ×1 プラグ付 金属プレート	
⑰	ハネス用OAタップ 接地2P15A (接地極付) ×4 電源表示ランプ付 ケーブル3m	
⑱	角型 (穴1新用) ノズルプレート	
⑲	ガードプレート	
⑳	天井内ジャンクションボックス OB102×54	
㉑	メタルモールドスイッチボックス (A型)	
㉒	メタルモールドコーナーボックス (A型)	
㉓	プルボックス SS 150×150×100-V	
E2.0	防火区画貫通処理 壁E2.5短管工法	
E2.1	防火区画貫通処理 壁E3.1短管工法	
E2.5	防火区画貫通処理 床E2.5短管工法	

直流電源装置仕様	
用途	非常照明用・操作・表示電源用
形式	キュービクル式直流電源装置 (前面保守) 全自動浮動充電型
整流方式	サイリスタ整流方式 (三相全波)
冷却方式	自然冷却
定格	連続
相線	三相3線
電圧	200V
電圧変動範囲	180~200V
周波数	50Hz
周波数変動範囲	47.5 ~ 52.5Hz
最大入力容量	1.7 kVA
浮動充電電圧	12.0, 4V
定電圧精度	±1.5%
電圧調整範囲	±3%
定格出力電流	7.5A
最大垂下電流	9.0以下
出力電圧	9.0 ~ 11.0V
出力電流	6 ~ 60A
種類	制御弁式充電装置電池
形式	MSEX-300
セル数	54セル
公称容量	300AH/10HR
経電圧公称電圧	10.8V
浮動充電電圧	12.0, 4V





厚生棟 1階平面図 S=1/100



株式会社 一級建築士事務所
共伸設備設計事務所

北海道知事登録 (石)第 3038号
一級建築士登録 第230654号
設備設計一級建築士登録 第 206号
早川 浩 基

承認	担当	製図

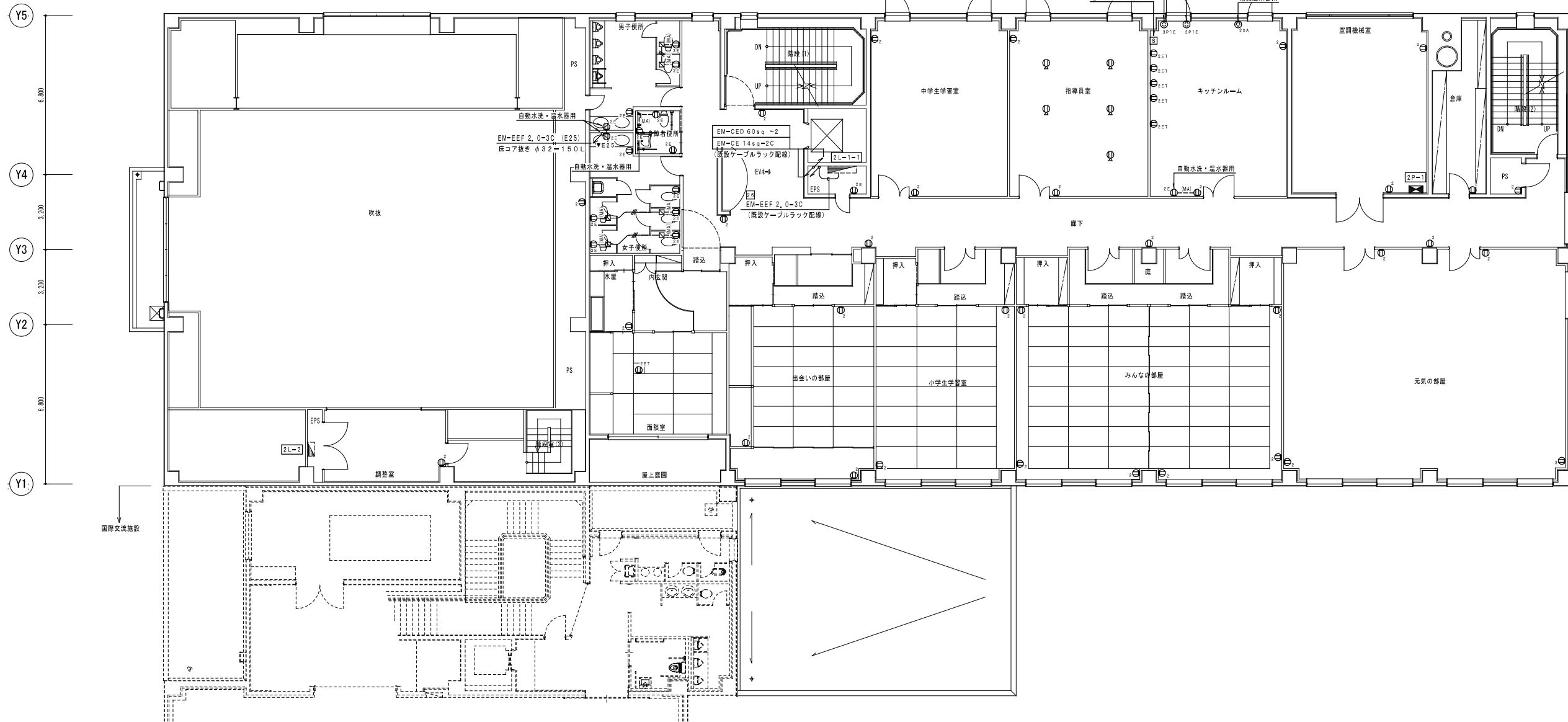
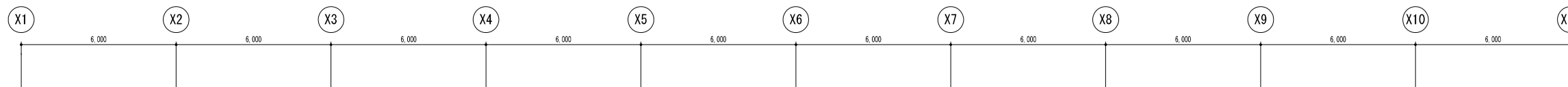
縮尺 1/100
設計年月日 R 3. 20

工事名 リフレサッポロ改修強電設備工事
図面名 X線幹線設備、コンセント設備、動力設備 厚生棟 1階平面図 (改修後)

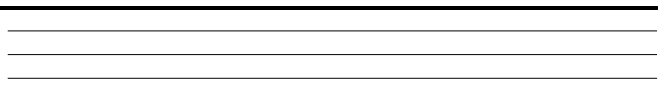
図番 E-22



電磁調理器閉閉器盤 (雙燈込形)
 W: 330xH: 330xD: 120 (10kg)
 MCCB 3P30/20AT x 2
 ※配線用遮断器のみ新設



厚生棟 2階平面図 S=1/100



一級建築士事務所
 株式会社 共伸設備設計事務所

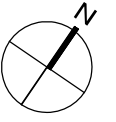
北海道知事登録 (石) 第 3038号
 一級建築士登録 第230654号
 設備設計一級建築士登録 第 206号
 早川 浩基

承認	担当	製図

縮尺 1/100
 設計年月日 R 3. 20

工事名 リフレサッポロ改修強電設備工事
 図面名 X線幹線設備、コンセント設備、動力設備 厚生棟 2階平面図 (改修後)

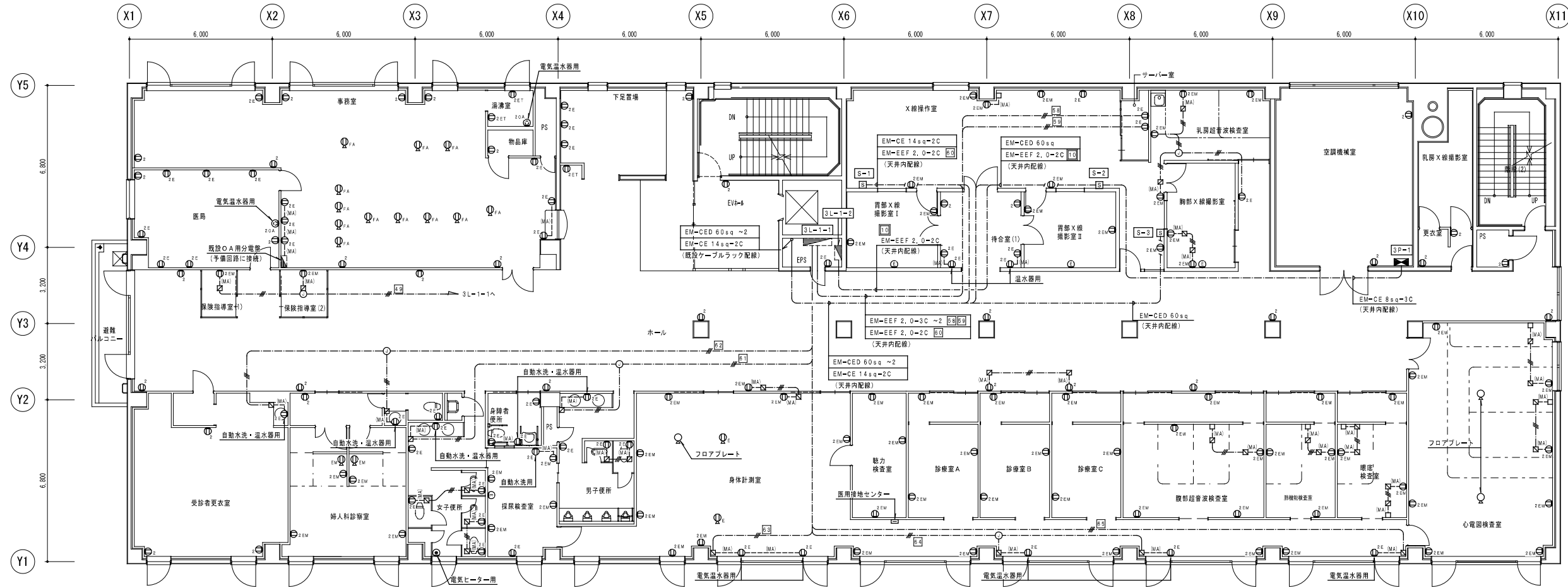
図番 E-23



S-1 (閉閉器盤 銅板製露出壁掛型製作盤)
MCCB 2P50/20AT x2
表示灯用端子板 2P100V 20A

S-2 (閉閉器盤 銅板製露出壁掛型製作盤)
MCCB 2P100/100AT x1
MCCB 3P50/30AT x1
MCCB 2P50/20AT x1
表示灯用端子板 2P100V 20A

S-3 (閉閉器盤 銅板製露出壁掛型製作盤)
MCCB 2P100/100AT x1
表示灯用端子板 2P100V 20A



厚生棟3階平面図 S=1/100



一級建築士事務所
株式会社 共伸設備設計事務所

北海道知事登録 (石)第 3038号
一級建築士登録 第230654号
設備設計一級建築士登録 第 206号
早川 浩基

承認	担当	製図

縮尺 1/100
設計年月日 R3.10

工事名 リフレサッポロ改修強電設備工事
図面名 X線幹線設備、コンセント設備、動力設備 厚生棟3階平面図 (改修後)